平成24年09月05日 16時05分32秒 作成

担当課 702010 | 教育部・学校教育課・学事係 記入年月日 平成24年08月15日 係・氏名 学事係 吉永ゆかり 直通番号・内線 942-1130 423

(政策体系図)

١	基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
		01	学校教育の充実
ı	施策	01	学力・体力の向上
	基本事業名	03	小学校学力向上事業

		1	事	業	概	要
対象(誰・何に対して)						どのようにしたいのか
小学校児童に	基礎	・基本の	り学え	」定着を	を図り、	これを活用できる表現力を身につけさせる。
			.	業	内	容

・学力調査の実施(年1回)

市内小学校の全学年の児童を対象に、学力調査(国語・算数の2教科)を実施する。

- ・福岡県学力実態調査「個人成績表」の作成 福岡県が費用を負担し実施する福岡県学力実態調査(小学校6年生が対象、理科・社会の2教科)について、市で業者に委託し成績表を作成 する。
- ・学習支援アシスタントの派遣 各小学校の放課後補充教室の支援及び授業中における児童の学習支援のため、学習支援アシスタントを各学校に派遣する。
- ・学力向上支援対応講師の配置
- ①平成16年度より小学校低学年(1、2年生)に対し少人数学級対応講師を配置。
- ②平成23年度は、国費による小学校1年生の少人数学級制が施行されたことから、市では小学校2年生に対する少人数学級対応講師を配置 。併せて、3・4年生に対する学力向上支援対応講師を配置。

内

事

容

事業の経緯及び今後の展望(開始~現在~将来)

市で行う小学校学カテストは、全学年において国語・算数の2教科を実施している。

このテストの分析結果を基に学力向上推進委員会で分析の検討及び研究の結果から、効果的な指導方法、指導方法の工夫改善等に活かして いる。児童がどこにつまずきがあるのか、どう改善を行うべきかを検討実践することは有益と考える。

また学習支援アシスタントは、放課後補充学習、質問教室、長期休業中補充学習等をより充実させ、学力が十分に身についていない児童へ の支援を行うことにより、結果全ての児童の学力向上を図っている。

学力向上支援対応講師の配置は、小学校低学年の少人数学級対応講師の配置を継続して行うとともに、新学習指導要領の完全実施に伴い、 分数やローマ字等つまずきやすい単元の学習が始まる小学校中学年に対して講師を配置する事業であり、平成23年度から新規に取り組むこ ととする。

	基本	本事業語	平価	施策が	いらみた	基本事	業評価
	ıίλ	盐	成	方向性			돔
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性		75.712			貢献度
年	性	性	果		規模	経費	度
度 事							
後							
価		句性	0.0+1		w/+ + . =	- 0	4h -
結	3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了						
果	【方向性が2の場合】						
	規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小						
	経	費 … 4	:拡大、3	3:維持、2	∷縮小		

平成24年09月05日 16時05分32秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08月15日								
係・氏名	学事係	吉永ゆかり							
直通番号・内線	942-1130	423							

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

				事前	ī			事	後評	平価		
		基本事業を構成する細事業名	年度	優生	必	効	成	方「	句性		貢	補足
		本本事末で構成する相事末石 1	度	優先順位	要性	率性	果		句性 規	模経	±±	抽 足
		小学校学力テスト事業費	前々年度									
	1	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									前
		702010 教育部・学校教育課・学	現年度	1	4	4	4	3			4	<mark>々</mark> 年
		小学校学力向上支援対応講師配置事業費	前々年度									<mark>々年度 </mark>
	2	人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠内	前年度									評価
		平成23年度 ~	現年度	3	4	4	4	3			4	
#		702010 教育部・学校教育課・学 小学校学習支援アシスタント派遣事	前々年度									
基本	3	業費	前年度									
事		継続 経常的経費 枠内	現年度	2	4	4	4	3			4	前
業		702010 教育部・学校教育課・学	前々年度									前年度事後評
を #			前年									評価
構成			度 現年 度									
す			前々年度									
る			前年									
細事			現年度									<mark>現</mark> 年
業			度 前々 年度									現年度事前
			前年									<mark>評</mark> 価
			度									
			現年度						+			全ての児童の学力向上のための施策として効果的であ
			前々 年度 前年									a .
			度									- 現 年
			現年度							+		現年 度事後
			前々 年度 前年									(支) (本) (価)
			度									
			現年度									

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

ſ		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	수	MP前期	0. 0000 0. 0000		0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0. 0000
ı	数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	_	-	-	-	0. 0000
	333	決 算	0. 1900	_	_	_	_	******	******	0. 1900

[3/4]

平成24年09月05日 16時05分32秒 作成

担当課 702010 |教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		月15日	
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

	Т	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		学力テストの実施回数	MP前期	1	1	1	1	1	******	******	1
			実施計画	1	1	1	-	-	-	-	******
	1		結 果	1	-	_	_	-	******	******	******
	Č	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
	ľ	学カテストの実施回数									
麦	į.										
		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
4	·	学習支援アシスタント活用回	MP前期	1900	1900	1950	1950	1950	******	******	2000
_		<u></u> 数	実施計画	1900	1900	1950	_	-	-	-	******
Initi	+	<mark>単位</mark> 回	結 果	1897	-	-	-	-	******	******	******
当	į (指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
1	`	小学校に派遣した学習支援ア	7								
E	1	シスタントの活用回数									
47	, L										
杉	F	指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	-1	到達度別人数比(C評価の割	MP前期	30	30	28	28	26	******	******	20
		<u>北</u> 合)	実施計画	30	30	28	_	_	-	-	******
	1	増 単位 %	結 果	34	-	_	_	_	******	******	*****
	7	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
	П	到達度別人数比(C評価の割	標準学力標	食査において	、3・4年生の	の国語・算数	で期待正答響	を上回るこ	とを目指す。	到達度別。	人数比にお
Γ		合)	いて、努力	りを要する((C評価) のり	児童の割合を	現在の30%台	合から20%台	に減らすこと	:を目標とすん	る。

			ф	=0			年度	U00左帝	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		1位:十円)
			内	兀				H23年度		112		1 124		1121 1 1/2	MP前期計
				_	Alle	-++-	MP前期	0	25, 960	25, 960	25, 960	25, 960	******	******	103, 840
		直	接	事	業	費	実計(当初)	25, 960	0	0	-	_	-	-	25, 960
							決 算	24, 417	-	_	_	_	******	******	24, 417
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	445	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	_	_	_	_	0
	歳						決 算	0	-	-	-	_	******	******	0
	出						MP前期	0	1, 610	1, 610	1, 610	1, 610	*****	*****	6, 440
	ш	人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0
							決 算	1, 510	-	-	-	_	*****	*****	1, 510
							MP前期	0	27, 570	27, 570	27, 570	27, 570	*****	*****	110, 280
		歳	出	計		1	実計(当初)	25, 960	0	0	-	_	-	-	25, 960
							決 算	25, 927	-	-	-	_	*****	*****	25, 927
基							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
+		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0
本							決 算	0	-	-	-	_	******	*****	0
事							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
-		県	支	Ī	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	_	_	-	0
業							決 算	0	-	-	-	_	*****	*****	0
経	歳						MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
ボ 至	<i>***</i>	市				債	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0
費	入						決 算	0	-	-	-	_	*****	*****	0
~							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		そ	の	他	特	財	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0
							決 算	0	-	_	-	_	*****	*****	0
							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		特	財	計		(2)	実計(当初)	0	0	0	-	_	_	-	0
							決 算	0	-	_	-	_	*****	*****	0
							MP前期	0	27, 570	27, 570	27, 570	27, 570	*****	*****	110, 280
	_	般財	源	(1) —	2	実計(当初)	25, 960	0	0	-	_	_	-	25, 960
						~	決 算	25, 927	_	_	-	_	*****	*****	25, 927
						【補足		也市の状況)	・ 今後の計画	・計画と予算	官に大きな違	いがある場合	の理由等)		
						-									

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	03	小学校学力向上事業

評価区分	評価	r_E	その理由
計画区方	ā₩ 1Œ		での一理 田 児童の学力向上を図るために必要性が高い事業と考える。
必 要	二 次 評 価	4	光里の字刀向上を図るために必要性か高い事業と考える。
性	評価基準	·	
	5:実施が	義務付ける	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、
	2:市とし	て実施する	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業
効 率 性	二 次 評 価		学力テスト実施にあたっては業務委託契約を行うことにより経費節減を図っている。講師配置についても必要最小限の経費で実施している。アシスタント派遣にあたっては、各学校を通じ、大学生や地域の方々などを効率的に活用している。
1±	評価基準		
			られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 られていない事業
成 果	最終評価		低学年における少人数学級編制の実現や放課後学習の支援など、児童生徒の学力向上のために役立てられており、個に 応じたきめ細かな学習指導等につながったことから、成果があったと判断する。
	評価基準	·+	
			いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、 ていない事業

	方向	5 M+	·····································		評価者コメント
	۱۰ در	-1 II	規模	経費	計画有コクンド
今後の方				事業満足度調査では、少人数学級対応講師派遣に対する市民の満足度はやや高く、今後も国の動向を見ながら少人数学級編制を継続し、児童の学力向上を図られたい。	
方 向 性	※ 方向性				
	3∶現状	維持、2:見	,直しのう:	え継続、1:」	廃止、O:終了
	【方向作	生が2の場1	合】		
	規模	4∶拡∶	大、3:維持、	2:縮小	経費 ··· 4: 拡大、3: 維持、2: 縮小

平成24年09月05日 16時05分34秒 作成

担当課 702010 |教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年08	月15日
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

ı	基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
	政 策	01	学校教育の充実
	施策	01	学力・体力の向上
	基本事業名	05	部活動活性化事業

			事	業	概	要		
	対象(誰・何に対して)						どのようにしたいのか	
		要な予	算的支持	爰及び学	!校・	保護者	の費用負担軽減を行い、	部活動が円滑に行われるように
		る。						
		•						
			市	業	内	容		
	・部活動消耗品、部活動備品等の整備及び管理の	独立	事	未		谷		
		1 似						
	・部活動大会等に参加する場合の費用補助							
	・専門的技術指導のできる部活動外部講師の派遣							
事								
1								
ж								
業								
内								
容								
10	ф.	と の 終 結	おが 合	後の足り	月 (日	퇴하스 ▂ . I	見在~将来)	
	古賀市内の中学校生徒が、学校教育活動の一環と							「トラーツギロ・伊口学士教供」
	古貫市内の中子校生徒が、子校教育活動の一環と 部活動の活性化に寄与するとともに、部活動大会				-			
	っている。また、専門的技術指導の出来る部活動	が部語	即の派遣	置安綱を	半戍	19年度	に制定し、部活動の活性	E化を図つている。

	基	本事業評	严価	施策が	いらみた	基本事	業評価
	81	41	-	方向性			_
前	必要性	効 率 性	成	73 IFJ [X			貢献度
前々年度事後評価結果	性	性	果		規模	経費	度
度							
後							
評	※ 方向	9性		I	1		
結	3:現	状維持、	2:見直し	のうえ絹	迷続、1∶ß	廃止、0∷	終了
果	【方	向性が20	の場合】				
	規	模 … 4	:拡大、3	∷維持、2	2:縮小		
	経	費 … 4	∶拡大、3	∷維持、2	2:縮小		

平成24年09月05日 16時05分34秒 作成

担当課 702010 | 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年08	月15日
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

(政策体系図)

1000001011		
基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

				事前				事	发評 值	T			
		基本事業を構成する細事業名	年度	優先	必	効	成	方向	性		貢		補足
			皮	優先順位	要性	率性	果		規模	経費	献度		
		部活動管理事務費	前々年度	122									
	1	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									前	
		702010 教育部・学校教育課・学	現年 度	1	4	4	4	3			4	· 女年度事後評	
		部活動大会参加補助金事業費	前々 年度									争後評	
	2	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	度									価	
		702010 教育部・学校教育課・学 部活動指導等支援事業費	現年度	2	4	4	4	3			4		
基	2	人工数 0.0000											
本事	3	継続 経常的経費 枠内	度 現年	3	4	4	4	3			4	前年	
業		702010 教育部・学校教育課・学	度前々度		_	7	1					前年度事後評	
を 構			前年度									評価	
成			現年度										
する			前々年度										
る細			前年度									現	
事			現年度									現年度事前評	
業			前々 年度									前評価	
			前年度									Щ	
			現年度前々										いずれも部活動の活性化に寄与している事業であり、
			前々 年度 前年										今後も継続することが必要である。
			現年									現年1	
			度 前々 年度									現年度事後評	
			前年度									評価	
			現年度										
	十六州	・ 2・四歩数件 2・日本しのここ数体 1・床り	- 0:6		_	ш	ш		V 111 V	1 +8		4:+:	0. ## 1. ## 4. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1. ## 1.

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

ſ		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
	수	MP前期	0.0000	0. 0000	0. 0000	0.0000	0. 0000	******	******	0.0000
	数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	_	-	-	_	0.0000
		決 算	0. 2100	_	_	_	-	******	******	0. 2100

[3/4]

平成24年09月05日 16時05分34秒 作成

担当課 702010 |教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08	月15日
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

		指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		部活動数				MP前期	51	51	51	51	51	******	******	51
	+1					実施計画	51	51	51			ı	_	******
	指煙			単位	部	結 果	51	-	_	-	_	******	******	******
	175		標	式			【補足	(考え方(他	也市の状況等)	・今後の計	画・変更した	場合の変更理	理由等)】	
)	古賀市内中学	校音	『活動 数	女									
基														
本			標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
本		部活動に加入	、して	こいる生	上徒の		80	80		85	85	******	******	90
_	11-	率				実施計画	80	80	80	-	-	-	_	******
事	指揮			単位	%	結 果	77	ı	_	_	_	******	******	******
業	(2)	指	標	式			【補足	(考え方(他	也市の状況等)	・今後の計	画・変更した	場合の変更現	理由等)】	
)	部活動に加入	、して	こいる生	E徒の	5/1学校	を基本調査よ	IJ						
目		率(%)												
標														
尓		指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
						MP前期						*****	******	
	+15					実施計画								******
	指標			単位		結 果						*****	*****	******
	3	指	標	式			【補足	(考え方(他	也市の状況等)	・今後の計	画・変更した	:場合の変更理	理由等)】	

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
							MP前期	0	13, 796	13, 796	13, 796	13, 796	******	******	,
		直	接	事	業	費	実計(当初)	8, 235	0	0	_	ı	ı	_	8, 235
							決 算	5, 576	_	_	_	1	******	******	5, 576
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	歳	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	_	0
	 成						決 算	5, 390	_	_	_	-	******	******	5, 390
	出						MP前期	0	1, 505	1, 505	1, 505	1, 505	******	******	6, 020
		人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	_	0
							決 算	1, 505	-	-	-	-	*****	*****	1, 505
						_	MP前期	0	15, 301	15, 301	15, 301	15, 301	******	*****	61, 204
		歳	出	計		1	実計(当初)	8, 235	0	0	-	-	-	-	8, 235
++							決 算	12, 471	-	-	-	-	******	******	12, 471
基		_					MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
本		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	-	0
							決 算	0	-	-	-	-	******	*****	•
事							MP前期	0	420	420	420	420	******	*****	1, 680
-114c		県	支		出	金	実計(当初)	420	0	0	-	-	-	-	420
業							決 算	0	-	-	-	-	******	*****	_
経	歳					-	MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
	入	市				債	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	_	0
費	^						決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0
		_	_		44		MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	
		7	の	他	特	財	実計(当初)	0	0	0	_	_	_	_	0
							決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0
		44	п.	=1			MP前期	0	420	420	420	420	******	*****	1, 680
		符	財	āŤ		2	実計(当初)	420	0	0	_	-			420
							決 算	0	- 14 001	- 14 001	- 14 001	-	******	******	0
		6n. DJ	NEC.	6	•		MP前期	7.015	14, 881	14, 881	14, 881	14, 881	******	******	59, 524
		般財	源		1) —	· (2)	実計(当初)	7, 815	0	0	-	-	-	-	7, 815
						【 大井 口	決 算 (老さま (4	12,471	- 会後の計画	- 社面も又名		しょが セス 4日 ノ	*****	*******	12, 471
						【補足	(考え力(11	也市の状況)	・ラ仮の計画	「・計画と予算	すに人でな遅	いかめる場合	の理田寺)		

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	01	学力・体力の向上
基本事業名	05	部活動活性化事業

評価区分	評句	西点	そ の 理 由									
必 要	二 次 評 価	4	学校教育活動の一環として子どもの体力向上を図るとともに、身体的・精神的に強い意志のある人間や、お互い協力して助け合い社会的にも豊かな人間を育成していくことを部活動を通して行うために必要な事業である。									
性	評価基準											
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、									
	2:市とし	て実施すん	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業									
効 率 性	二 次 評 価	4	各学校の状況を調査し、実情や要望に基づき必要経費を予算計上していることから効率性は高いと考える。									
注	評価基準											
	4:費用対	効果が得	られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、									
	1:費用対効果が得られていない事業											
成 果	最 終 評 価		備品の整備、外部講師の派遣、大会参加補助等を行い、部活動の活性化に大きく寄与していることから成果をあげていると判断する。									
	評価基準											
	4:目標を	達成してい	いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、									
	1:目標を	達成でき	ていない事業									

	方向	1性			評価者コメント
	۱۰ در) II	規模	経費	計画有コグンド
今後の方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、外部講師の派遣に対しての市民の満足度はやや高く、今後も学校や保護者の 費用負担軽減の観点から部活動活性化を図るべく事業を継続されたい。
性	【方向性	維持、2:見 生が2の場1			秦止、0:終了 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小

平成24年09月05日 16時06分37秒 作成

担当課 702020 | 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日		平成24年08月02日								
係・氏名	指導係		本田	嘉彦						
直通番号・内線		942-1348		427						

(政策体系図)

	基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
ľ	政 策	01	学校教育の充実
į	施策	02	学習環境の充実
	基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

_							
			事	業	概	要	
	対象(誰・何に対して)						どのようにしたいのか
	問題行動(不登校若しくは不登校傾向等)を 示す児童・生徒に対して、	児童	・生徒の生活	舌環境	を改善	し、学	学校復帰若しくは欠席数の減少を目指す。

事 業 内 容

- 小・中学校の要請に対し、不登校若しくは不登校傾向を示す児童・生徒が抱える問題(環境)への働きかけを行う。
- ・問題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけ
- ・関係機関とのネットワークの構築
- ・学校内におけるチーム体制の構築
- ・保護者に対する支援・相談・情報提供
- ・児童・生徒へのカウンセリング
- ・児童・生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供
- ・教職員等への研修活動 等を行う

事

業

内容

事業の経緯及び今後の展望(開始~現在~将来)

子どもを取り巻く環境は、近年の都市化、少子高齢化、核家族化や経済情勢に伴う家庭や地域の教育力の等大きく変化していく中で、児童・ 生徒のいじめ、不登校、暴力行為・非行等の問題行動は、依然憂慮すべき状況にある。

児童・生徒の問題行動等の状況や背景には、児童・生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等児童・生徒が置かれている環境も複雑に絡みあっている場合も少なくない。

こうした児童・生徒が抱える問題を解決若しくは軽減するためには、家庭内の問題、児童虐待、育児放棄、友人関係等に着目し、それぞれの児童の環境に応じた対応が必要不可欠である為、福祉等に関して専門的な知識及び経験を有する者を任用し、子どもに影響を及ぼしている学校、家庭、地域環境の改善に向け、支援ネットワークの構築に役立てる。

	基本	本事業評	[価	施策が	いらみた	基本事業	業評価
				方向性			
前	业	効率	成	刀间生			貢献
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度
变					7561天	作具	
事							
美							
f	※ 方向						
				,のうえ糾	迷続、1∶⅓	廃止、0∶	終了
Ł		句性が20					
	規	模 … 4	∶拡大、3	:維持、2	2∶縮小		
	経	費 … 4	∶拡大、3	:維持、2	2:縮小		

平成24年09月05日 16時06分37秒 作成

担当課 702020 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08	平成24年08月02日								
係・氏名	指導係	本田	嘉彦							
直通番号・内線	942-1348		427							

(政策体系図)

_	(22421411		
12	基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
ī	改 策	01	学校教育の充実
j,	施 策	02	学習環境の充実
175	基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

				事前				事	多評 信	E			
		基本事業を構成する細事業名	年度	優生	必	効	成	方向			貢		補足
		全个 子木と 情况 が し 間 子木 口	度	優先順位	要性	率性	果		規模	経費	献度		III / C
		スクールソーシャルワーカー事業費	前々年度	1M	1-		<u> </u>				<u>~</u>		
	1	人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠内	前年度									前	
		平成23年度 ~ 702020 教育部・学校教育課・指	現年度	1	4	4	4	2	3	4	4	前々年度事後評	
			前々年度									事後輕	
			前年 度									猫	
			現年度										
基			前々年度								_		
本事			前年 度 現年								_	前年	
業			現年度前々									前年度事後評	
を ##			前年								=	評価	
構成			現年度								\dashv		
す			前々年度								-		
る細			前年度									тв	
事			現年度									現年度事前評	
業			前々年度										
			前年度									価	
			現年度										ᄜᄧᄯᇓᄼᅩᆉᅜᆇᄔᄯᅶᇈᄝᄀᄜᄧᄼᄳᄿᄬᆡᄼᄔ
			前々年度								_		問題行動を示す児童生徒が抱える問題を解決若しくは 軽減するためにも、一層の支援が必要と思われる。
			前年 度 現年								=	現年	
			現年度								-	現年度事後	
			前年								\dashv	評価	
			度 現年 度								=		
	+ c #	- 2.用比纵性 2.目本1.のここ似体 1.序』	. 0:4						ν 11 Φ	1 +8		4:#:+	이 생 보 이 연하 성 후 시 선 수 이 생생 이 연하

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0.0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0.0000
数	実計(当初)	0.0000	0. 0000	0. 0000	_	-	-	_	0.0000
	決 算	0. 1900	-	_	_	-	******	******	0. 1900

[3 / 4]

平成24年09月05日 16時06分37秒 作成

担当課 702020 |教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08	月02日	
係・氏名	指導係	本田	嘉彦
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

		指	標	名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		スクールソー	-シ	ャルワーカー	MP前期	360	360		360	360	******	*****	360
	11-	活用時間数			実施計画	360	360	360	_	-	_	-	******
	指標			単位 時間	結 果	366	ı	_	-	-	******	******	******
	15.	指	標	式		【補足	(考え方(他	也市の状況等)	今後の計画	画・変更した	場合の変更現	理由等)】	
		年間の活用時	計間	数									
基	Ц												
		指	標	名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
本					MP前期						******	******	
事	t⊑				実施計画								*****
#	煙			単位	結 果						******	******	*****
業	2	指	標	式		【補足	(考え方(他	也市の状況等)	・今後の計	画・変更した	場合の変更理	理由等)】	
目													
標	Н	110	Law			1100	110.4.5	1105 5 5	1100	1107 (1100 5 5	1100 ===	- I
175		指	標	名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
					MP前期						******	******	
	岩			No. 11	実施計画								******
	指標3			単位	結 果						******	*****	*****
	3	指	標	式		【補足	(考え方(他	也市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	理由等)】	

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		MP前期計
							MP前期	0	2, 160	2, 160	2, 160	2, 160	******	******	8, 640
		直	接	事	業	費	実計(当初)	2, 160	0	0	_	-	ı	-	2, 160
							決 算	2, 196	-	-	_	-	******	******	2, 196
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	45	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	_	0
	歳						決 算	0	-	-	_	-	******	******	0
	出						MP前期	0	1, 300	1, 300	1, 300	1, 300	*****	******	5, 200
		人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	_	0
							決 算	1, 878	-	-	_	-	******	*****	1, 878
							MP前期	0	3, 460	3, 460	3, 460	3, 460	******	*****	13, 840
		歳	出	計		1	実計(当初)	2, 160	0	0	-	-	-	-	2, 160
++							決 算	4, 074	-	-	-	-	*****	*****	4, 074
基		_					MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
本		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
1							決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
事			_			^	MP前期	0	0	0	0	0	*****	******	0
業		県	支		出	金	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	_	0
未							決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
経	歳	_				/==	MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
	入	市				債	実計(当初)	0	0	0	_	_			0
費							決 算	0	-	-	_	- 0	*****	*****	0
		7	•	/th	4+	пт	MP前期	0	0	0	0	- v	*****	*******	0
		7	の	1世	衧	拟	実計(当初)	0	_		_	-	******	******	0
	-						決 算	0	- 0	- 0	- 0	- 0			0
		H±	財	±4		(2)	MP前期 実計(当初)	0	0	0	_	_	******	*******	0
		र्ग	四	ĒΙ		2	決 算	0	_	_		_	*****	******	0
-							M P 前期	0	3, 460	3, 460	3. 460	2 460	*****	*****	13, 840
	_	般 財	· 酒	C	1) —	2	実計(当初)	2. 160	3, 400	3, 400	5, 400 -	5, 400 -	**************************************	**************************************	2, 160
		MX X/I	加尔		リ ー	∠	決 算	4, 074	_	_	_	_	*****	******	4, 074
-						【補足	19 1	1市の状況)		• 計画上予算	新に大きか 遠	いがある場合		1-handahahahah	4, 074
						I Im ∕C	(13767) (16	311202.0(00)	7 区 77 日 四		ナルハこみ圧	<u>マ 13 は7 の2</u> 例 E	147年四寸/		

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

	基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
Ì	政 策	01	学校教育の充実
l	施策	02	学習環境の充実
	基本事業名	05	児童生徒生活環境改善事業

評価区分	評価	5点	その理由
必 要	二 次 評 価		問題行動(不登校等)を示す児童生徒の生活環境改善を目的として配置している。児童生徒を取り巻く環境は年々複雑化、深刻化していることから、その環境改善に対し福祉等に関して専門的な知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーの派遣は必要である。
性	評価基準		<u> </u>
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、
	2:市とし	て実施す	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業
効 率 性	二 次 評 価	4	3 中学校を拠点校として各校区の小学校にも派遣可能となっている。本年度の活用時間数は予定よりも多くニーズが非常に高かった。
1111	評価基準		
			られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 られていない事業
成果	最終 評 価		複雑な内容の相談が多い中、問題解決に対する献身的な活動に学校現場や関係機関からも高い評価を受けたことから、成果があったと判断する。
	評価基準 4・日標を	達成して	、 いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、
			でいない事業

	方向	a ##			評価者コメント
) I F	1) II	規模	経費	計画有コクンド
今後の方	最 終 評 価	2	4		事業満足度調査では、市民の満足度は高かった。平成24年度から時間数増の対応がなされており、児童生徒及び保護者の悩みや不安を軽減、解消することにより生活環境の改善が図られるよう、今後も事業を継続されたい。
方 向 性	【方向性	維持、2:見 生が2の場1			秦止、0:終了 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小

平成24年09月05日 16時06分39秒 作成

担当課 702020 | 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08	月15日
係・氏名	指導係	本田 嘉彦
直通番号・内線	942-1348	427

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

		事	業概	要
	対象(誰・何に対して)	-	木 1 州	 どのようにしたいのか
	小学校児童・教職員・保護者に対して	相談相手となる	県費負担スク-	ールカウンセラーや心の教室相談員を配置し、児童が抱える様
				解消することにより、児童の心にゆとりが持てる環境づくりを
		めざす		
		事	業内	· <mark>容· · · · · · · · · · · · · · · · · · </mark>
	【スクールカウンセラー】	- 町墨)のは田市	₹ <i>k</i> 7	
	県費負担スクールカウンセラー(各中学校に 中学校との調整事務、	-配直)の仕用争	7分、	
	中子校との調金事務、 県教育事務所への調査報告事務を行っている	1		
	宗教自事物別、00副直報自事物を打りている	0.		
	【心の教室相談員】			
	全小学校1校に1人の当相談員の配置、			
	年4回の心の教室相談員研修会の実施、			
	当相談員の報酬支払事務を行っている。			
事				
業				
内				
容				
		事業の経緯及び会	る後の展望(開	始~現在~将来)
	心の教室相談員は、平成19年度より当事業を開			
		果と連携しながら	心の相談業務を	を行なった結果、不登校を未然に防ぐことに役立っており、継続
	していくべき事業と考える。			

	基本	本事業評	[価	施策な	いらみた	基本事	業評価
	84	41	-	方向性			_
前	必要性	効 率 性	成	73 (F) II			貢献度
前々年度事後評価結果	性	性	果		規模	経費	度
度							
後							
評価	※ 方向	性			-		
結	3:現	犬維持、	2:見直し	のうえ絲	継続、1∶層	廃止、0∷	終了
果		句性が20					
				∷維持、2			
	経	費 … 4	:拡大、3	∷維持、2	2:縮小		

平成24年09月05日 16時06分39秒 作成

担当課 702020 | 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	指導係	本田	嘉彦					
直通番号・内線	942-1348		427					

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

				事前				事	多評	西			
		基本事業を構成する細事業名	年度	優先順位	必要	効率	成	方向]性	Ave alth	貢献	補足	
				位	性	性	果		規模	経費	度		
		小学校心の教室相談員配置事業費	前々 年度										
	1	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									前	
		平成19年度 ~ 702020 教育部・学校教育課・指	現年度	1	4	4	4	3			4	女 年 度 事	
		小学校スクールカウンセラー事業	前々年度									等 後 評	
	2	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									一	
		702020 教育部・学校教育課・指	現年度	2	4	4	4	3			3		
#		702020 教育的"子校教育妹"指	前々年度										
基本			前年度										
事			現年度									前 年 鹿	
業			前々年度				+					前年度事後 評価	
を			前年									評価	
構成			度現年				+						
す			度										
る			前々 年度 前年				_						
細			度									現年	
事業			現年度									現 年度 事	
*			前々年度									<mark>前</mark> <mark>評</mark> 価	
			前年 度										
			現年度									1 Marin day and 18 little day a few day of the same of	-T
			前々 年度									小学校において、児童が悩み等を気軽に スを和らげる相談相手として児童の身近	に配置し、心
			前年度									にゆとりをもてる環境づくりに務めてい 現 年々伸びており、人間関係のトラブル、	家庭での悩み
			現年度									年 等を相談する中で多くの問題を未然に防 度 告もあり、今後も継続して行っていく必	
			前々年度									<mark>後</mark> 評	
			前年度									価	
			現年度										
		1			_		_			_	_		

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0. 0000
数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	-	-	-	-	0. 0000
~	決 算	0. 1200	_	_	_	_	******	******	0. 1200

[3/4]

平成24年09月05日 16時06分39秒 作成

担当課 702020 |教育部・学校教育課・指導係

1	記入年月日	平成24年08		
	係・氏名	指導係	本田	嘉彦
	直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標		
		心の教室相談員人数	MP前期	8	8	8	8	8	*****	*****	8		
			実施計画	8	8	8	-	_	-	-	*****		
	指煙	単位 人	結 果	8	-	-	-	-	******	******	******		
	(1)	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	理由等)】			
)	配置人数合計	市内小学	市内小学校8校に各校1人配置する。									
基													
		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標		
本		心の教室相談員活用時間数	MP前期	250	250	250	250	250	******	******	250		
_	11-		実施計画	250	250	250	-	-	-	-	******		
事	指揮	<mark>単位</mark> 時間	結 果	250	ı	-	-	-	******	******	******		
業	1示	指標 式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	:場合の変更理	理由等)】			
*)	年間で相談支援にあたった	寺										
目		間数											
標													
悰		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標		
			MP前期						******	******			
	11-		実施計画								******		
	指標③	単位	結 果						******	******	******		
	(3)	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	:場合の変更理	理由等)】			
	9)												

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計									
							MP前期	0	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	******	******	10, 000									
		直	接	事	業	費	実計(当初)	2, 500	0	0	-	_	-	_	2, 500									
							決 算	2, 472	-	-	-	-	******	******	2, 472									
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0									
	歳	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	-	ı	ı	ı	0									
	成						決 算	0	-	-	-	-	******	******	0									
	出						MP前期	0	1, 062	1, 062	1, 062	1, 062	******	******	4, 248									
		人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	-	0									
							決 算	1, 062	-	-	-	-	******	******	1, 062									
				1				MP前期	0	3, 562	3, 562	3, 562	3, 562	******	******	14, 248								
		歳	出	計		1	実計(当初)	2, 500	0	0	-	-	-	-	2, 500									
									決 算	3, 534	-	-	-	-	******	******	3, 534							
基							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0									
本		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0									
							決 算	0	-	-	-	-	******	******	0									
事							MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0									
अस		県	支	出	. н	出 金		出 金	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	_	0					
業	_						決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0									
経	歳												/ =	MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0		
	入	市														債	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	_
費	^						決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0									
		-		111			MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0									
		7	の	他	符	財	実計(当初)	0	0	0	_	_	_	_	0									
	-						決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0									
		4+	пт	=1			MP前期	0	0	0	0	0	******	*******	0									
		行	財	ĒΤ		2	実計(当初)	0	0	0	_	_			0									
H							決 算		2 560	- 2 F60	2 560	- 2 F60	*****	******	•									
		般 財	洒	a) —	(2)	MP前期 宝計(光初)	2, 500	3, 562	3, 562	3, 562	3, 562	*****	******	14, 248 2, 500									
	_	1位 以	꺄	U	<i>_</i>	(2)	実計(当初)	3, 534	_	_	_		******	*****	3, 534									
-						【補足	., .	3,534			- ち <u>に + キャキ</u>	- 11がおる場合		********	ა, ეპ4									
H						T用上	(方ん刀(11	とけいり1人流)	・フ仮の計画	- 司四乙丁基	引っ入さな選	いいめの場合	ロツ连田寺)											

+D 77 =B	702020	教育部・学校教育課・指導係	具数部压压 日	亚式2/年9月	6日
担目沫	702020	教育部·子校教育誌·拍导係	取於計圖平月	十成24年0月	
			二次評価者	教育部長	長﨑 功一
			最終評価者	経営改革推進	本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	11	小学校心の相談事業

評価区分	評価	i 点	そ の 理 由								
必 要	二次評価		児童が抱えている悩みや不安を相談員に気軽に話をすることで、ストレスを和らげ不登校やいじめ等の未然防止に努め、心にゆとりを持てる環境づくりを行うことが出来た。								
性	評価基準										
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、								
	2:市とし		る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業								
効 率 性	二 次 評 価		各学校とも様々な相談に対応し、ほぼ予定通りの活用があった。又、県配置のスクールカウンセラーや学校関係者と連携を取り、相談に関する情報を共有することで、問題行動の発生を未然に防ぐことができた。								
1±	評価基準										
	4:費用対効果が得られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 1:費用対効果が得られていない事業										
成 果	最 終 評 価		心の教室相談員を配置し、カウンセリング等を行うことにより、いじめや不登校等の未然防止に努め、問題行動を減らす効果があった。								
	評価基準										
			いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、								
	1:目標を	達成できる	ていない事業								

	方向性				評価者コメント				
	۱۰ ۲۷	-1 II	規模	経費	計画有コクンド				
今後の方	最 を解消して問題行動を未然に防止し、ゆとりを持った環				事業満足度調査では、心の教室相談員配置に対する市民の満足度は高く、児童が抱える悩みや不安を解消して問題行動を未然に防止し、ゆとりを持った環境づくりを行うことは、学校生活を送る上で大変重要であることから、今後も継続して事業を実施されたい。				
方向性	※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了								
	【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小								
	/九/天	+ 1)A 2	八、ひ・朴正 1寸、	. て・利日・1・	作は良 す・104 八、5・他1寸、2・利4 1、				

平成24年09月05日 16時06分42秒 作成

担当課 702020 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日		平成24年08月15	日	
係・氏名	指導係	本日	ヨ 嘉彦	
直通番号・内線	942-134	3	42	27

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

	事 業 概 要									
対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか									
中学校生徒・教職員・保護者に対して	相談相手となる県費負担スクールカウンセラーや心の教室相談員を配置し、生徒が抱える様々な悩み、不安、ストレスを解消することにより、生徒の心にゆとりが持てる環境づくりをめざす									
	事業内容									
「スクールカウンセラー】 県費負担スクールカウンセラー(各中学校に配置)の任用事務、 小学校との調整事務、 県教育事務所への調査報告事務を行っている。										
【心の教室相談員】										

全中学校1校に1人の当相談員を配置、 年4回の心の教室相談員研修会の実施、 当相談員の報酬支払事務を行っている。

事

業

内容

事業の経緯及び今後の展望(開始〜現在〜将来) 心の教室相談員は、平成19年度より当事業を開始しているところである。

県配置のスクールカウンセラー、学校、当課と連携しながら、心の相談業務を行なった結果、不登校を未然に防ぐことに役立っており、継続していくべき事業と考える。

П	基本	本事業評	平価	施策が	いらみた	基本事	業評価
前	必	効	成	方向性	向性		貢
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度
医事:							
俊 評 価	※ 方向	5性					
結結				のうえ糺	継続、1∶ <u>R</u>	廃止、0∷	終了
果	【方向性が2の場合】						
				∷維持、2			
	経	費 … 4	:拡大、3	∷維持、2	2:縮小		

平成24年09月05日 16時06分42秒 作成

担当課 702020 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08	月15日	
係・氏名	指導係	本田	嘉彦
直通番号・内線	942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

				事前				事	後評	価		
		基本事業を構成する細事業名	年度		必	効	成	方向	1性	,,,,,,	貢	補足
		本 中未で特成する神争未石	度	優先順位	要性	率性	果		規模	莫経費	±±	州
		中学校心の教室相談員配置事業費	前々年度									
	1	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									前
		702020 教育部・学校教育課・指	現年度	1	4	4	4	3			4	々 年度 事後 評
		中学校スクールカウンセラー事業	前々年度									事後
	2	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									福
		702020 教育部・学校教育課・指	現年度	2	4	4	4	3			3	
基			前々 年度									
本			前年度									前
事業			現年度									前年度事後評
を			前々年度									後 価
構成			前年度									
成す			現度前年									
る			前年									
細事			現年									現 年 度 事
業			度前々度									<mark> 前 </mark>
			前年度									評価
			現年度									
			前々年度									中学校において生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレス を和らげる相談相手として生徒の身近に配置し、心に
			前年度									ゆとりをもてる環境づくりに務めている。活用数も年 現 々増加しており、人間関係や家庭等でのトラブルを
			現年度									年 相談する中で、多くの問題を未然に防げたという報告 度 もあり効果が上がっている。
			前々 年度									接
			前年 度									, mi
			現年 度					# ተ ደበ			+#	A state of s

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0.0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0.0000
数	実計(当初)	0.0000	0. 0000	0. 0000	-	-	-	-	0.0000
200	決 算	0. 1200	-	-	_	-	******	******	0. 1200

[3/4]

平成24年09月05日 16時06分42秒 作成

担当課 702020 |教育部・学校教育課・指導係

記入年月日		平成24年08	月15日	
係・氏名	指導係		本田	嘉彦
直通番号・内線		942-1348		427

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標			
		心の教室相談員人数	MP前期	3	3	3	3	3	******	******	3			
	+15		実施計画	3	3	3	-	-	-	-	*****			
	指標	単位 人	結果	3	-	-	-	-	******	******	******			
	1	指標式		【補足(考え方(他市の状況等)・今後の計画・変更した場合の変更理由等)】										
	_	配置合計人数	市内中学	市内中学校3校に各校1人配置する。										
基		- L		1100 =====	110.4 5	1105 6 4	1100	1107 (1100 ====	1100 ===				
		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標			
本		心の教室相談員活用時間数	MP前期	250	250	250	250	250	******	******	250			
-			実施計画	250	250	250	-	-	-	-	******			
事	指揮	単位 時間	結 果	250	_	-	-	_	******	******	******			
業	(2)	指標式		【補足	(考え方(他	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更現	理由等)】				
)	年間で相談支援にあたった	寺											
目		間数												
+275														
標		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標			
			MP前期						******	******				
			実施計画								******			
	指揮	単位	結 果						******	******	******			
	指標③	指標式		【補足	(考え方(他	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更現	理由等)】				
	•													
	Г													

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
							MP前期	0	938	938	938	938	******	*****	3, 752
		直	接	事	業	費	実計(当初)	938	0	0	_	_	-	_	938
							決 算	936	-	-	-	_	******	******	936
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	1155	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	_	-	ı	-	0
	歳						決 算	0	-	-	-	-	******	******	0
	出						MP前期	0	1, 062	1, 062	1, 062	1, 062	******	******	4, 248
		人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	_	0
							決 算	1, 062	-	-	-	-	******	******	1, 062
							MP前期	0	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	******	******	8, 000
		歳	出	計		1	実計(当初)	938	0	0	-	-	-	-	938
							決 算	1, 998	_	-	-	-	******	******	1, 998
基							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
本		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
							決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0
事							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
業		県	支	ŀ	出 金		実計(当初)	0	0	0	_	_	-	-	0
未							決 算	0	_	-	-	-	*****	*****	0
経	歳	_				/==	MP前期	0	0	0	0	0		******	0
	入	市				債	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	-	0
費							決 算	0	- 0	- 0	-	- 0	*****	******	0
		7	•	Иh	#±	B-F	MP前期 中計(水和)	0	0	0	0	_	*******	*******	0
		7	の	땐	1 寸	刔	<u>実計(当初)</u> 決 算	0	_	_	_	_	*****	******	0
	-						MP前期	0	0	- 0	- 0	- 0	*****	*****	0
		杜丰	財	Ξ÷		(2)	実計(当初)	0	0	0			_	_	0
		11	H/1	п		2	決 算	0		_	_	_	*****	*****	0
							M P 前期	0	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000		*****	8, 000
	一般財源 ① - ②						実計(当初)	938	2, 000	2,000	2,000	2,000	_	_	938
	NX PAINT () (2)					2	決 算	1. 998	_	_	_	_	******	******	1, 998
						【補足		市の状況)				いがある場合			1, 590
						I I III XL	()) () () () ()	3.1- 02 (200)	7 (X V) II (E)				4 + F - T LI 17 / .		

扣坐理	702020	教育部・学校教育理・ 指道係	是级证価在日口	亚成2/年8日	3日
担当床	702020	教目即・子校教目誌・拍導隊	取べい四十万口	业 去如 €	
			一次評価有 	教育部技	長呵 切一
			最終評価者	経営改革推進:	本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	12	中学校心の相談事業

評価区分	評値	西点	そ の 理 由							
必 要	二 次 評 価	4	生徒が抱えている悩みや不安を相談員に気軽に話をすることで、ストレスを和らげ不登校やいじめ等の未然防止に努め、心にゆとりを持てる環境づくりを行うことができた。							
性	評価基準									
	5:実施が	《義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、							
	2:市とし		る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業							
効 率 性	二 次 評 価		各学校とも様々な相談に対応し、ほぼ予定どおりの活用があった。又、県配置のスクールカウンセラーや学校関係者と 連携を取り、相談に関する情報を共有することで、問題行動の発生を未然に防ぐことができた。							
1生	評価基準									
	4:費用対効果が得られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 1:費用対効果が得られていない事業									
成 果	最 終 評 価	4	心の教室相談員を配置し、カウンセリング等を行うことにより、いじめや不登校等の未然防止に努め、問題行動を減ら す効果があった。							
	評価基準	法はしてに	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
			いる争来、3:日侯を似ね连成している争来、2:日侯をめまり連成でさていない争来、 ていない事業							

	方向性 評価者			評価者コメント					
	Л١	91生	規模	経費	計画有コグンド				
今後の方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、心の教室相談員配置に対する市民の満足度は高く、生徒が抱える悩みや不安を解消して問題行動を未然に防止し、ゆとりを持った環境づくりを行うことは、学校生活を送る上で大変重要であることから、今後も継続して事業を実施されたい。				
性	方向性 ※ 方向性 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成24年09月05日 16時05分37秒 作成

担当課	702010	教育部 •	学校教育課·	学事係

記入年月日		平成24年08	月15日
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

	事業概要
対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
全ての小学校児童に	学校環境に適応し、小学校過程を過ごしてもらう。

本事業は、小学校の環境に適応するのが最も困難な小学校1年生に対して、適切な対応をとることを目的としている。

幼児教育から義務教育へと移行した際、教科中心、決まり事の多い小学校へと環境が急変することに対応できない小学校1年生が、「教師の話を聞けずに、教室を歩き回る」、「友だちと騒いで授業が成立しない」、「わがままのし放題で集団での活動ができない」等の問題が生じている。その結果、授業不成立をはじめとする学級の「学び」と「暮らし」「遊び」をつなぐ機能が発揮できない状況に陥ることがある。これらの問題を解決するため、小学校という環境になじめず学習指導や生活指導に困難が生じる小学校1年生担任の補助を行うことを目的とする学級補助員を配置し、すべての児童の学力の向上と学級の健全化を図る。

- ・就学前から小学校への連続性を重視した補助を行う
- ・学習指導、生活指導、行事等において担任の補助を行う
- ・すべての児童の学力の向上と学級の健全化に向けた補助を行う
- ・対応する児童、学級については校長の指示に従い補助を行う

事業

内

灾

事業の経緯及び今後の展望(開始~現在~将来)

幼児教育から義務教育へと移行した際、小学校という環境になじめず学習指導や生活指導に困難が生じる小学校 1 年生において、担任の補助を目的とする学級補助員を配置し全ての児童の学力の向上と学級の健全化を図ることとした。

平成21年度より事業を開始し、平成21・22年度は各小学校に1名の学級補助員を配置してきたが、平成23年度は事業規模拡大して1年生のクラス数が3学級以上となる学校には2名の配置を行っている。

事業を実施した結果、児童の学力が向上した、学校生活が安定した等の成果が顕著に現れており、今後も引き続き事業を実施していく。

	基本	本事業評	陌	施策が	いらみた	基本事業	業評価	
				方向性				
前	鉴	効率	成	דו נייו ני			真	
前々年度事後評価結果	必 要 性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度	度
度					75012	427		
事								
評		n#4-						
価			2:見直し	.のうえ糸	迷続、1∶ <u>R</u>	秦止. 0:#	終了	
果		う性が20		, , , , , ,				
	規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小							
	経費 · · · 4:拡大、3:維持、2:縮小							

平成24年09月05日 16時05分37秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	学事係		吉永ゆかり					
直通番号・内線		942-1130	423					

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

				事前				宝/	後評	活		
		基本事業を構成する細事業名	年度	優	必	効	成	方向	<u>)性</u>	ш	貢	- 補 足
		本中手で構成り る神争未石	度	優先順位	要性	率性	里	方向	規模	経費	±±	
		小 1 プロブレム対策学級補助員配置 事業費	前々年度	<u>1立</u>	11	14	*				IX.	
	1	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠外	前年 度									】 前
		平成21年度 ~ 702010 教育部·学校教育課·学	現年度	1	4	4	4	3			4	前 (本 (本 (本 (表 (表 (表) (表) (表) (表) (表) (表)
			前々 年度									事
			前年度									
			現年度									
基			前々年度									
本			前年度									in in
事			現年度									-
業			前々年度									前 年度 事後
を 構			前年度									
成			現年度									1
す			前々年度									
る細			前年度									-
事			現年度									_
業			前々年度									- <mark>現年</mark> - 度 - 事前 - 評
			前年度									
			現年度									1
			前々年度									平成23年度より1学年の学級数が2クラスの学校I は2名の配置と規模拡大しており、より大きな効果?
			前年度									あげている 。
			現年度									現 年度 事後
			前々年度									事 ** ** **
			前年度									
			現年度									1

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0. 0000
数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	-	-	-	-	0.0000
	決 算	0. 1100	-	_	_	_	******	******	0. 1100

[3 / 4] 平成24年09月05日 16時05分37秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成	24年08月15日
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		学級補助員配置人数	MP前期	11	11	11	11	11	*****	*****	11
			実施計画	11	11	11	-	-	-	-	******
	指揮	単位 人	結 果	12	_	-	-	_	******	******	******
	(1)	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更現	理由等)】	
		小1プロブレム対策として配									
		置した学級補助員の数。									
基	L										
		指 標 名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		目標H27年度
本		不登校児童数	MP前期	5	5	4	4	3	******	******	3
事	指		実施計画	5	5	4	_	-	-	-	*****
尹	担煙	単位 人	結 果	5	-	-	-	_	******	******	******
業	2	指標式		【補足		市の状況等)			場合の変更理	理由等)】	
		不登校児童数	小学校の	問題行動の状	:況の把握を	ううため、主	に不登校児園	量数について	記載		
目											
標	L										
1示		指 標 名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		標準学力調査における正答率		80	80	80	80	80	******	******	80
	+比	80%以上の児童の割合	実施計画	80	80	80	_	-	-	-	******
	指煙	<mark>単位</mark> %	結 果	76	_	-	-	_	******	******	******
	1 3	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	今後の計i	画・変更した	場合の変更現	理由等)】	
		標準学力調査における正答率									
		80%以上の児童の割合									

			内	訳			白	E度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
				Her V			_	前期	0	7, 524	10, 944	10. 944	10, 944	*****	*****	40, 356
		直	接	事	業	書		(当初)	7, 586	0	0	-	-	_	_	7, 586
		_		•	-11		決	算	7, 953	_	_	_	_	*****	*****	7, 953
								前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		共	通	事	務	費		(当初)	0	0	0	-	_	_	_	0
	歳						決	算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
	出						MF	前期	0	990	990	990	990	*****	*****	3, 960
	ш	人	件	費	関	連	実計	(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0
							決	算	990	-	-	-	-	******	******	990
							MF	前期	0	8, 514	11, 934	11, 934	11, 934	******	******	44, 316
		歳	出	計		1	実計	(当初)	7, 586	0	0	-	-	-	-	7, 586
							決	算	8, 943	_	-	-	-	******	******	8, 943
基								前期	0	0	0	0	0	******	******	0
本		国	庫	支	出	金		(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
7							決	算	0	-	-	-	-	******	*****	0
事		_						前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
-114-		県	支		出	金		(当初)	0	0	0		-	-	-	0
業							決	算	0	-	-	_	-	******	*****	0
経	歳							前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
	7	市				債		(当初)	0	0	0	-	-	_	-	0
費	入						決	算	0	-	-		-	******	*****	0
		_	_					前期	0	0	0	0	0	******	******	0
		そ	の	他	特	財		(当初)	0	0	0	_	-	_	-	0
							決	算	0	-	-	-	-	******	******	0
		4+	пт	=1				前期	0	0	0	0	0	******	*****	0
		符	財	計		2		<u>(当初)</u>	0	0	0	-	-	-	-	0
							決	算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
		6n. DJ	Lance	6	•			前期	7.500	8, 514	11, 934	11, 934	11, 934	******	******	44, 316
	_	- 般 財	冰	(1) –	(2)		(当初)	7, 586	0	0		_	-	-	7, 586
						▼ →± □	決	算	8,943	- 会然の計画			ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	*****	******	8, 943
						【補足	(右)	と力(1 1	也市の状況)	・ラ仮の計画	・計画と予り	引に入ざな遅	いかめる場合	が理田寺)	1	

担当課	702010 教育部・学校教育課・学事係	最	終評価年月日	平成24年8月6	6 目
			二次評価者	教育部長	長﨑 功一
			最終評価者	経営改革推進	本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	15	小学校学習環境づくり支援事業

評価区分	評値	五点	その理由
必要	二次評価	4	全ての児童の学力向上と学級の健全化を図るのに必要な事業である。
性	評価基準		
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、
	2:市とし	て実施する	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業
効 率 性	二 次 評 価	4	年間勤務日数・勤務時間等を考え、効率的に講師の雇用と配置を行っている。
IT	評価基準		
			られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 られていない事業
成 果	最 終 評 価	1	各学校1名ずつの補助員配置としていたが、平成23年度より1学年の学級数が3クラスの学校には2名の配置と規模拡大し、新しい環境になじめず学習や集団生活に困っている児童の支援やきめ細かな指導等を行うことができていることから、成果があったと判断する。
	評価基準	***	、 ファル 0 日本ナロー第一 0 日本ナナー 1 本ナー 1 本ナー 1 本ナー 1 本ナー 1 本ナー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
			いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、 ていない事業

	方向	a ##			評価者コメント
	/J I⊦	1) II	規模	経費	計画有コクンド
今後の方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、児童の学力向上と学級の健全化を図るべく、今後も事業を継続されたい。
方 向 性	【方向性	維持、2:見 生が2の場1			廃止、0:終了 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小

平成24年09月05日 16時05分40秒 作成

担当課 702010 |教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年08	月15日
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施 策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

		事業概要
	対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
	全ての中学校生徒に 学校班	環境に適応し、中学校過程を過ごしてもらう。
		# #
		事業内容
	本事業は、中学校の環境に適応するのが最も困難な中	中学校1年生に対して、適切な対応をとることを目的としている。
	きめ細やかな学習指導、生活指導を行うことを目的	りとした講師を配置し、全ての生徒の学力の保障を図る。
事	to the second se	
尹	₹	
業	<mark>坐</mark>	
~		
内	<mark>为</mark>	
容	<mark>容!</mark>	
	事業の	経緯及び今後の展望(開始~現在~将来)
	小学校から中学校へ進学する段階で、英語等新しい教	牧科の学習が始まったり、学習内容も高度になり、学習についていけずに充実感や達成感
		手小学校とは異なる教育システムに適応できなくなる生徒が現れる。その結果、中学校の
	学習や生活の変化に馴染めず学力不振、不登校、いじ	
	この問題を未然に防くため、平成18年度から、きめ	り細やかな学習指導、生活指導を行うことを目的とした講師を配置し、全ての生徒の学力
	の保障を図ることとした。	
		 以果が現れており、今後も引き続き事業を実施していく。
	争未を天心した相未、不豆似土化が減少した寺のか	X未が近れていて、プロコロがご事末で大心していて。

1	基	本事業評	平価	施策が	いらみた	基本事	業評価
	ıίλ	かわ	成	方向性	方向性		=
前夕	必要性	効 率 性				貢献度	
前々年度事後評価結果	性	性	果		規模 経費 度	度	
医							
後							
猫	※ 方向性						
結果	3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】						
		規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小					
	経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小						

平成24年09月05日 16時05分40秒 作成

担当課 702010 | 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08月15日					
係・氏名	学事係		吉永ゆかり			
直通番号・内線		942-1130	423			

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

		基本事業を構成する細事業名 事前 事後評価 優別の財産を構成する細事業名 での対域を表現します。 までは、またいの													
		基本事業	と 構成する細導	事業名	年度	優先順位	必要	効率	成	方向]性		貢献度		補足
					及	順位	性	华性	果		規模	経費	度		
		中1ギャ	ップ対策講師配	置事業費	前々年度										
	1	人工数	(m.)((/ / / m + h)	0.0000	前年度									+	
		継続	経常的経費	枠内										育人	
		702010	教育部・学校教	枚育課・学	現年度	1	4	4	4	3			4	月月	
					前々 年度									人名居马谷彭伯	}
					前年度									品	
					現年度										
基					前々年度										
本					前年度										
事					現年度									育名 医马谷影侃	
業					_									马名	
を					前々 年度									言	
構					前年度									"	
成					現年 度										
する					前々年度										
細					前年度									Ŧ	
事					現年度									罗 名 医马育影侃	E
業					前々年度									号自	• -
					前年度									福	
					現年度										
					前々年度										事業の趣旨に沿って、適正に事務を遂行している。
					前年度				\dashv						
					現年度				\dashv					3年 日	
					前々年度									罗 年 医再卷部	
					前年度				\dashv					部位	6
									\dashv						
		2 · TEI 4 L	### 0:日本Lの3		現年度						D 相 O	1 +8			- 2 · 6/4 · 4 · 5 · 6 · 4 · 4 · 4 · 4 · 4 · 4 · 5 · 6 · 4 · 4 · 4 · 4 · 6 · 6 · 4 · 4 · 4

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0.0000	0. 0000 0. 0000		0. 0000	0. 0000	******	******	0.0000
数	実計(当初)	0.0000	0. 0000	0. 0000	-	-	-	-	0.0000
221	決 算	0. 1200	-	_	_	_	******	******	0. 1200

[3 / 4] 平成24年09月05日 16時05分40秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年	8月15日
係・氏名	学事係	吉永ゆかり
直通番号・内線	942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		講師配置人数	MP前期	7	7	7	7	7	*****	*****	7
			実施計画	7	7	7	-	-	-	-	*****
	指標	単位 人	結 果	7	-	-	-	_	******	******	******
	信	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	今後の計画	画・変更した	場合の変更理	理由等)】	
	•	中1ギャップ対策として配置									
		した講師の数。									
基											
4		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H28年度
本		中学校1年生不登校生徒数	MP前期	6	6	5	5	5	******	******	4
-			実施計画	6	6	5	-	-	-	-	******
事	指揮	<mark>単位</mark> 人	結 果	10	-	_	_	_	******	******	******
業	15元	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更現	理由等)】	
^		中学校1年生不登校生徒数(不登校生	下登校生徒割合指標 現況1.0%→目標0.8%(MPより) H23中1 540人、H28中1 (推計) 520人程度							
目		減少させることを目標)									
T285											
標		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						******	******	
	+1-,		実施計画								******
	指標3	<mark>単位</mark>	結 果						******	******	******
	3	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更現	里由等) 】	
	9	•									

			内	尺		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
						MP前期	0	17, 378	17, 378	17, 378	17, 378	******	******	69, 512
		直	接	事業	業 費	実計(当初)	17, 378	0	0	-	-	_	-	17, 378
						決 算	17, 031	-	-	-	-	******	******	17, 031
						MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	坦	共	通	事	务 費	実計(当初)	0	0	0	_	_	_	_	0
	歳					決算	0	_	_	-	-	******	******	0
	出					MP前期	0	1, 090	1, 090	1, 090	1, 090	******	******	4, 360
		人	件	費!	月 連	実計(当初)	0	0	0	-	-	_	_	0
						決算	1, 090	_	_	_	-	******	******	1, 090
						MP前期	0	18, 468	18, 468	18, 468	18, 468	******	*****	73, 872
		歳	出	Ħ	1	実計(当初)	17, 378	0	0	-	-	-	-	17, 378
++						決 算	18, 121	-	-		-	******	*****	18, 121
基						MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
本		玉	庫	支上	出 金	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	_	0
						決 算	0	-	-		-	*****	*****	0
事						MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
業		県	支	出	出 金	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	-	0
未						決 算	0	-	-		-	*****	******	0
経	歳	+			/==	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
	入	市			債	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	-	0
費						決 算	0	-	-	_	-	******	*****	0
		7	•	ne de	+ 01	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	-
		7	の	世半	守 財	実計(当初)	0	- 0	0		-	******	******	0
						決 第	0	- 0	- 0		- 0			0
		#土	財	=±	(2)	MP前期 実計(当初)	0	0	0		_	*****	*****	0
		11	炽	āΤ	(2)	決 算	0	U	0		_	*****	******	0
						MP前期	0	18, 468	18, 468	18, 468	18, 468		*****	73, 872
	_	般財	- 泊	1	– (2)	実計(当初)	17, 378	10, 400	10, 400	10, 400	10, 400	<u> </u>		17, 378
		川又 只	加尔	U	2	決 算	18, 121	_	_		_	*****	*****	18, 121
					【補力		市の状況)			ー 新に大きた造	しがある埋ぐ		ጥጥጥጥተተ	10, 121
					LTHI /	C (~7/C/J (II	という マンカ人 かし/	一万人の日田		チルスピ 少歴	0 -10 -00 C	100年四寸/		

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	16	中学校学習環境づくり支援事業

評価区分	評値	五点	その理由							
必要	二 次 評 価	4	中学 1 年生の学力不振、不登校、いじめ、荒れ等につながることを未然に防ぐために必要な施策である。							
性	評価基準									
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、							
	2:市とし	て実施する	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業							
効 率 性	二 次 評 価	4	勤務日数や勤務時間、人数等について適正に考慮し効率的に雇用・配置している。							
IΞ	評価基準									
	4:費用対効果が得られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 1:費用対効果が得られていない事業									
成 果	最 終 評 価		平成18年度の事業開始以来、継続して7名(古賀中2名、古賀北中3名、古賀東中2名)の配置を行い、生徒へのきめ細かな学習指導や生活指導等を実施しており、中学校の学習や生活の変化になじめない生徒への支援等を行うことができていることから、成果はあったと判断する。							
	評価基準									
			いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、							
	1:目標を	達成でき	ていない事業							

		方向	a ##			評価者コメント					
ı		/J I⊦	1) II	規模	経費	計画有コクラド					
	今 後 の 方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、きめ細かな指導による生徒の学力保障と学級の健全化を図るべく、今後も事業を継続されたい。					
	向 性	向									

平成24年09月05日 16時05分42秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年08	月15日
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政	5 01	学校教育の充実
施	02	学習環境の充実
基本事業	17	小学校環境適応支援事業

也のよい学級集団づく
上の問題点を把握する
関係づくり、人間関係
- ATMA

市内小中学校においても、このことが不登校や学級の荒れにつながっている。

したがって、子どもたちの学級生活での満足度と意欲・学習集団の状態を測定する心理テスト「QUアンケート」を導入し、学級集団の状態や生徒指導上の問題点を分析する。 そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れの予防・早期発見・改善や教育実践の効果測定などに活用し、子どもたちにとって居心地の

そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れの予防・早期発見・改善や教育実践の効果測定などに活用し、子どもたちにとって居心地の よい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てる。

Ī	基本	本事業評	严価	施策が	いらみた	基本事業	業評価		
新	必	効	成	方向性	方向性		貢		
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度		
送事									
[] []	※ 方向								
結果				,のうえ 刹	迷続、1∶ β	廃止、0∶;	終了		
	規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小								
果	3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小								

平成24年09月05日 16時05分42秒 作成

担当課 702010 | 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年08	月15日		
係・氏名	学事係		吉永ゆかり		
直通番号・内線		942-1130	423		

(政策体系図)

基本目	標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政	策	01	学校教育の充実
施	策	02	学習環境の充実
基本事業	業名	17	小学校環境適応支援事業

				事前				事	後評値	西		۱ 🗀	
		基本事業を構成する細事業名	年度	優先	业	効	成	方向	付性		貢		補足
			及	順位	安性	半性	果		規模	経費	貢献度		
		小学校学級人間関係づくり支援事業 費	前々年度										
	1	人工数 0.0000	前年									34	
	ı.	新規 経常的経費 枠外 平成23年度 ~	度								_	即々	
		702010 教育部・学校教育課・学	現年度	1	4	4	4	3			4	年度	
			前々 年度									前々年度事後評価	
			前年 度									描	i di
			現年度										
基			前々年度										
本			前年度									عد	
事			現年度									前年度事後評価	:
業			前々年度									事後	
を 構			前年度									一個	
成			現年度										
す			前々年度										
る			前年										
細			度								_	現在	<u> </u>
事業			現年度									度事	
未			前々 年度									現年度事前評価	
			前年 度									ТЩ	
			現年 度										
			前々 年度										事業の趣旨に沿って適正、円滑に事務を実施している。
			前年度									損	
		,	現年度									年度	
			前々年度									現年度事後評価	
			前年度									益	
			現年度										
				1					1	1		ı	

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0.0000
数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	_	_	-	-	0.0000
200	決 算	0. 0100	-	_	_	-	******	******	0. 0100

[3/4] 平成24年09月05日 16時05分42秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年08	月15日
係・氏名	学事係		吉永ゆかり
直通番号・内線		942-1130	423

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	17	小学校環境適応支援事業

		+F.	1200	<i>D</i>	_	左位	IIO0 는 다	ᄪ	HOE 눈 ☆	山のケケウ	UO7 는 ċ	山の左帝	LIOO 는 다	
		指	標	名	_	年度	H23年度	H24年度_	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		不登校児童数	攵			MP前期	6	5	4	3	3	******	******	0
	11-					実施計画	6	5	4	_	_	-	_	******
	指標			単位 人		結 果	5	-	-	-	_	******	******	******
	信	指	標	式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
		不登校児童数	女			児童生徒	の不登校状況	2推移(推計)	を、平成21	年度実績数!	こ基づき記載			
基														
	Г	指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
本						MP前期						******	******	
						実施計画								******
事	指揮			単位		結 果						******	******	******
業	帰の	指	標	式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
*	۵													
目														
Lerr														
標	Г	指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
						MP前期						******	******	
						実施計画								******
	指煙			単位		結 果						******	******	******
	(3)	指	標	式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計	画・変更した	場合の変更現	里由等)】	

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		MP前期計
				ser v			MP前期	0	1, 771	1, 771	1, 771	1, 771	*****	*****	7. 084
		直	接	事	業	費	実計(当初)	1, 771	0	0	-	-	_	_	1, 771
				•			決 算	1, 733	_	_	_	_	*****	*****	1, 733
							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
		共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0
	歳						決 算	0	-	_	-	_	******	******	0
	出						MP前期	0	89	89	89	89	******	******	356
	ш	人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	-	_	-	-	0
							決 算	89	-	-	-	1	******	******	89
							MP前期	0	1, 860	1, 860	1, 860	1, 860	******	******	7, 440
		歳	出	計		1	実計(当初)	1, 771	0	0	-	-	-	-	1, 771
							決算	1, 822	-	_	-	_	*****	******	1, 822
基							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
本		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	-	_	-	0
							決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0
事							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
業		県	支		出	金	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	-	0
未							決 算	0	-	-	-	-	******	******	0
経	歳					/ =	MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	入	市				債	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	-	0
費							決 算	0	-	-	-	-	******	******	0
		7	_	/rl-	44	пт	MP前期	0	0	0	0	0	*****	******	0
		t	の	他	特	財	実計(当初)	0	0	0	_	_	-	-	0
							決 M P 前期	0	- 0	- 0	- 0	- 0	******	******	0
		#土	財	÷Τ		(2)	実計(当初)	0	0	0	_	_	****	*****	0
		11	H/I	ĒΙ		2	決 算	0	_		_		******	******	0
							M P 前期	0	1. 860	1. 860	1, 860	1, 860	*****	*****	7, 440
	_	般 財	· 酒	C	1) –	2	実計(当初)	1, 771	1, 800	1, 000	-	-	_	_	1, 771
		MX XV	n.T.		ı)	٧	決 算	1, 771	_		_	_	******	******	1, 771
						【補足		世市の状況)						. 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1, 022
						I IM AL	. (737673 (1	511207 1/7/10/	/ 区 07 町 四	melc 1.9	ナルスとる産	0 13 GJ 60 791 L	100年四寸/		

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	17	小学校環境適応支援事業

= 1 (本) ()	≑π <i>t</i> :	平上	Z 0 78 d							
評価区分	評値	山川	その理由 子どもたちにとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てるのに必要な事業であ							
必 要	二 次 評 価	4	子ともたちにとって居心地のよい子被集団つくりや字刀问上を目指す字省集団つくりに役立てるのに必要な事業である。							
性	評価基準									
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、							
	2:市とし	て実施する	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業							
効 率 性	二 次 評 価	4	業者委託により経費節減をしながら年2回の調査を実施でき、効率的に事務を実施している。							
11	評価基準									
	4:費用対効果が得られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、									
成 果	最 終 評 価	3	年 2 回の調査を実施し、結果をもとに具体的な手立てを講じ、学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てていることから、成果があったと判断する。							
	評価基準									
	4:目標を	達成してい	いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、							
	1:目標を	達成でき	ていない事業							

	方向	5 MH			評価者コメント					
	יו נכ	-1 II	規模 経費		計画有コメント					
今後の方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、今後も学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てるよう、事業を継続されたい。					
方 向 性	【方向作	:維持、2∶見 生が2の場1			· 廃止、0:終了 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小					

平成24年09月05日 16時05分45秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	学事係	吉永ゆかり						
直通番号・内線	942-1130) 423						

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

	や学力向上をE 事 O「hyper-QU てを講じ、学級	Uアンケー 目指す学習 業 」を活用し 及集団づく	ート」(一ト」(別集団 [*] 内 した調	要 どのようにしたいのか の実施により、子ども達にとって居心地のよい学級集団づく づくりに役立てる。
市内全小中学校の児童生徒に対して 心り り いち から いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと いっと できる いっと できる	や学力向上をE 事 O「hyper-QU てを講じ、学級	目指す学習 <mark>業 『</mark> 」を活用! 吸集団づく	a集団 [*] <mark>内</mark> した調	の実施により、子ども達にとって居心地のよい学級集団づく づくりに役立てる。 容
・各校・各学級で調査結果をもとに具体的な手立	フ「hyper-QU」 てを講じ、学紀	」を活用し 吸集団づく	した調	
		検証する	,, ,	
児童生徒を取り巻く社会情勢や教育環境等の急激 づくりが円滑にできない児童生徒が全国的に増え 市内小中学校においても、このことが不登校や学 したがって、子どもたちの学級生活での満足度 態や生徒指導上の問題点を分析する。	な変化の中、人 てきている。 級の荒れにつな と意欲・学習集	くとのコミ ながってい 集団の状態	ュニケ る。 を測定	ァーション能力が不十分なために、友達関係づくり、人間関 Eする心理テスト「QUアンケート」を導入し、学級集団の
			や教育	育実践の効果測定などに活用し、子どもたちにとって居心地
	児童生徒を取り巻く社会情勢や教育環境等の急激 づくりが円滑にできない児童生徒が全国的に増え 市内小中学校においても、このことが不登校や学 したがって、子どもたちの学級生活での満足度 態や生徒指導上の問題点を分析する。 そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れ	児童生徒を取り巻く社会情勢や教育環境等の急激な変化の中、人づくりが円滑にできない児童生徒が全国的に増えてきている。 市内小中学校においても、このことが不登校や学級の荒れにつな したがって、子どもたちの学級生活での満足度と意欲・学習 態や生徒指導上の問題点を分析する。 そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れの予防・早期	児童生徒を取り巻く社会情勢や教育環境等の急激な変化の中、人とのコミづくりが円滑にできない児童生徒が全国的に増えてきている。 市内小中学校においても、このことが不登校や学級の荒れにつながってい したがって、子どもたちの学級生活での満足度と意欲・学習集団の状態 態や生徒指導上の問題点を分析する。	市内小中学校においても、このことが不登校や学級の荒れにつながっている。 したがって、子どもたちの学級生活での満足度と意欲・学習集団の状態を測 態や生徒指導上の問題点を分析する。 そこで、この結果を不登校やいじめ、学級の荒れの予防・早期発見・改善や教育

	基之	本事業評	平価	施策が	いらみた	基本事業	業語
前	必要	効	成	方向性			貢
々年度	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度
事後							
前々年度事後評価結果	※ 方向 3:現:		2:見直し	」のうえ糺	坐続、1∶8	上	L 終了
和果	【方	句性が20	の場合】			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
				3:維持、2 3:維持、2			

平成24年09月05日 16時05分45秒 作成

担当課 702010 | 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	学事係		吉永ゆかり					
直通番号・内線		942-1130	423					

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

				事前				事	後評価	T			
		基本事業を構成する細事業名	年度	優先順位	必要	効率	成	方向	性		貢献度		補足
			及	順位	女性	性	果		規模	経費	度		
		中学校学級人間関係づくり支援事業 費	前々年度										
	1	人工数 0.0000 新規 経常的経費 枠外	前年度									前	
		平成23年度 ~ 702010 教育部・学校教育課・学	現年度	1	4	4	4	3			4	前々年度事後評	
		A TANAMA TANAMA	前々年度									事後	
			前年度									評価	
			現年度										
Ħ			前々年度										
基本			前年度										
事			現年度									前年度事後評価	
業			前々年度									事後	
を 構			前年									評価	
成			度 現年 度										
す			前々年度										
る			前年										
細事			度 現年 度									現年	
業			度 前々 年度									現年度事前評	
			前年									評価	
			度										
			現年度前々										事業の趣旨に沿って適正、円滑に事務を実施している
			前々年度										•
			前年度									現年	
			現年度									現年度事後評価	
			前々年度									後評価	
			前年度									Im	
			現年 度										

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0. 0000
数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	_	-	-	_	0.0000
	決 算	0. 0100	-	-	_	-	******	******	0. 0100

[3 / 4] 平成24年09月05日 16時05分45秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	学事係		吉永ゆかり					
直通番号・内線	9	42-1130	423					

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

		指	標	名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
				10									<u>口标</u> ()
		不登校生徒数	X		MP前期	40	35	30	25	25	******	*****	
	+ヒ				実施計画	40	35	30	-	-	-	-	******
	指標			単位 人	結果	38	ı	_	-	_	******	*****	******
	17	指	標	式		【補足		市の状況等)	・今後の計	画・変更した	:場合の変更理	里由等) 】	
	•	不登校生徒数	Į.		児童生徒	の不登校状況	2推移(推計)) を、平成21	年度実績数!	こ基づき記載			
#													
基 -		指	標	名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
本			1.7.		MP前期						*****	*****	
.4.					実施計画								*****
事	指煙			単位	結 果						******	******	******
	ヿゕ	指	標	式	小口 木	【補足	(考え方(他	市の状況等)	・ 会後の計	面,亦再! <i>t</i> 。	場合の変更理		-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1
業	2	TH	尓	11,			(カルカ(世	山仍仅加守/	フルの間	当「友更した	物口以及艾克	主四寸/ 】	
目													
標				_									
177		指	標	名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
					MP前期						******	*****	
	11-				実施計画								******
	指標			単位	結 果						******	******	******
	(宗)	指	標	式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	今後の計	画・変更した	場合の変更理	里由等) 】	
	೨			-									<u> </u>

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計																				
							MP前期	0	929	929	929	929	******	******	3, 716																				
		直	接	事	業	費	実計(当初)	929	0	0	-	_	ı	-	929																				
							決 算	886	ı	-	-	-	******	******	886																				
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0																				
	11th	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	-	_	ı	-	0																				
	歳						決 算	0	1	_	-	_	******	******	0																				
	出						MP前期	0	89	89	89	89	******	******	356																				
		人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	_	0																				
							決 算	89	ı	-	-	-	******	******	89																				
							MP前期	0	1, 018	1, 018	1, 018	1, 018	******	******	4, 072																				
		歳	出	計		1	実計(当初)	929	0	0	_	_	_	_	929																				
							決 算	975	1	_	_	-	******	******	975																				
基					出													MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0									
本		玉	庫	支		金	金	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	_	0																			
\T`								決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0																			
事						MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0																					
-M4-		県支	出		金	実計(当初)	0	0	0	-	-	_	_	0																					
業							決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0																				
経	歳				債	債																					MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
.—	-	市					債	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	-	0																			
費	入								決 算	0	-	-	-	-	*****	*****	0																		
					,特	特	特	特	特		MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0																
		そ	の	他						特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	財	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	_	0				
											決 算	0	-	-	_	-	*****	*****	0																
							MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0																				
		特	財	計		2	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0																				
							決 算	0	_	-	_	_	*****	*****	0																				
		40 01					MP前期	0	1, 018	1, 018	1, 018	1, 018	******	*****	4, 072																				
	_	- 般 財 源 ① - ②				(2)	実計(当初)	929	0	0	_	_	_	_	929																				
						F1.4.	決 算	975	-	_	-	-	*****	******	975																				
						【補足	(考え方(他	也市の状況)	・今後の計画	・計画と予算	早に大きな違	いがある場合	るの理由等)																						

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	02	学習環境の充実
基本事業名	18	中学校環境適応支援事業

評価区分	評価	点	そ の 理 由						
必 要	二次評価	4	子どもたちにとって居心地のよい学級集団づくりや学力向上を目指す学習集団づくりに役立てるのに必要な事業である。						
性	評価基準								
	5:実施が義務付けられた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、								
	2:市とし	て実施すん	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業						
効 率 性	二 次 評 価	4	業者委託により経費節減をしながら年2回の調査を実施でき、効率的に事務を実施している。						
生	評価基準								
	4:費用対効果が得られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、								
	1:費用対効果が得られていない事業								
成 果	最 終 評 価		年 2 回の調査を実施し、結果をもとに具体的な手立てを講じ、学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てていることから、成果があったと判断する。						
	評価基準								
	4:目標を	達成してに	いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、						
	1:目標を	達成でき	ていない事業						

	+6	5 MH			評価者コメント			
	方向性		^エ 規模		計画有コクンド			
今後の方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、市民の満足度はやや高く、今後も学級集団づくり、学習指導、生徒指導に役立てるよう、事業を継続されたい。			
方 向 性								

[1/4]

平成24年09月05日 16時05分48秒 作成

担当課 702010 | 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年07月19日							
係・氏名	学事係	吉永ゆかり						
直通番号・内線	942-1130	423						

(政策体系図)

I	基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
	政 策	01	学校教育の充実
I	施策	03	体験学習の充実
ſ	基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

	事業概要
対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
全中学校2年生に対して、	下記目的のために、市内事業所で職場体験をさせる。 ・生徒が自己の理解を深め、職業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けることができるように学習させる。 ・社会的なルールやマナーを体得させ、異世代とのコミュニケーション能力の向上が図れるように学習させる。

事 業 内 容

市内事業所の受入れ先の確保

ドリームステージ (職場体験学習) 実行委員会の開催 (年4回) 事業所が生徒を受入れるにあたっての要望等の連絡調整

ドリームステージ報告書の作成

事

業

内

容

事業の経緯及び今後の展望(開始~現在~将来)

【職場体験が求められる背景】

職場体験が求められる背景として、子どもたちの生活や意識の変容、学校から社会への移行をめぐる様々な課題、そして、何よりも望ましい勤労観、職業観を育む体験活動等の不足が指摘されている。

現状の子どもたちは、社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚 や責任感の低下などが指摘されている。

【職場体験の必要性】

職場体験には、生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、 学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることが求められている。 また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味を持っている。

	基本	本事業評	[価	施策が	いらみた	基本事業	業評価	
盐	必	効	成	方向性	句性		貢	
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度	
度事								
後評	※ 方向	5件						
価結			2:見直し	のうえ絹	迷続、1 ∶g	毫止、0∶	終了	
果		【方向性が2の場合】						
	規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小							

[2/4]

平成24年09月05日 16時05分48秒 作成

担当課 702010 教育部・学校教育課・学事係

記入年月日		平成24年07月19日							
係・氏名	学事係		吉永ゆかり						
直通番号・内線		942-1130	423						

(政策体系図)

(->(>)	711	
基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

					事前				事	发評 值	E		۱ [
		基本事業	を構成する細事	年度	優先順位	必無	効	成	方向	性		貢献		補足	
					岌	順位	安性	平 性:	果		規模	経費	飲		
		職業体験的	学習事業費		前々年度										
	1	人工数		0.0000											±4-
	·	継続 平成19 ²	│経常的経費│ 年度 ~	枠内	度				+						即
		702010	_〒 教育部・学校教	枚育課・学	現年度	1	4	4	4	2	3	4	4		度
					前々 年度										前々年度事後評価
					前年度										福
					現年度										
					前々年度				+					-	
基					年度 前年				+						
本事					度				4						前
業					現年度										前 年度 事 後 評価
を					前々 年度										<mark>後</mark> 評
構					前年度										100
成					現年度										
す					前々年度										
る細					前年度				1						
事					現年度										現 年 度 事前 評
業					前々年度				+						前
					年度前年				1						<mark>評</mark> 価
					度				4						
					現年度										中学校学習指導要領の趣旨に沿った事業の実施が円滑
					前々 年度										中学校学賞指導要領の趣旨に沿った事業の実施が円滑に行われている。
					前年度										現
					現年度				T						度
					前々年度										現 年度 事 後 評価
					前年度				1						
					現年度				+						
					及									J L	

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0.0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0.0000
数	実計(当初)	0.0000	0. 0000	0. 0000	_	_	-	_	0.0000
221	決 算	0. 0300	-	-	-	-	******	******	0. 0300

[3/4]

平成24年09月05日 16時05分48秒 作成

担当課 702010 |教育部・学校教育課・学事係

記入年月日	平成24年07月19日							
係・氏名	学事係	吉永ゆかり						
直通番号・内線	942-1130	423						

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

		指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		体験学習が		ェー ない生	走数	MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0
						実施計画	0	0	0	-	-	-	-	******
	指標			単位	人	結 果	0	_	-	-	-	******	******	******
	(行)	指	標	式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	:場合の変更:	理由等)】	
	•	生徒数				全中学校	2年生全員を	受け入れるよ	う市内事業所	所に協力して	いただき、位	本験学習(受	入れ)ができ	ない生徒
						がないよ	うにする。							
基														
_		指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
本						MP前期						******	******	
事	 上					実施計画								******
争	指煙			単位		結 果						******	******	******
業	2	指	標	式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計	画・変更した	:場合の変更3	理由等)】	
	_													
目														
標		11-	1300	-		to the	1100 to the	110 A &	HOE to the	1100 to the	1107 to the	1100 to the	1100 to the	
1214		指	標	名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
						MP前期						******	******	
	指			24 II		実施計画								******
	指標	+E.	138	単位式		結 果	7 ↓ → □	(** * * * * / 	士の世には	人後の記	五 本市 L 4	******	*****	*****
	3	指	標	I			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・ラ俊の計	画・変更した	場合の変更	性田寺)	

(単位:千円)

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
							MP前期	0	356	356	356	356	******	******	1, 424
		直	接	事	業	費	実計(当初)	376	0	0	_	_	-	-	376
							決 算	316	-	_	-	-	******	******	316
							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	455	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	ı	ı	ı	-	0
	歳						決 算	0	_	-	-	1	******	******	0
	出						MP前期	0	1, 350	1, 350	1, 350	1, 350	******	******	5, 400
		人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	_	_	_	_	0
							決 算	195	-	-	-	-	******	******	195
							MP前期	0	1, 706	1, 706	1, 706	1, 706	******	******	6, 824
		歳	出	計		1	実計(当初)	376	0	0	-	-	-	-	376
**							決 算	511	-	-	-	-	*****	******	511
基							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
本		玉	庫	支	出	金	実計(当初)	0	0	0	-	_	_	_	0
							決 算	0	-	-	-	-	******	******	0
事						^	MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
業		県	支		出	金	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	_	0
未							決 算	0	-	-	-	_	*****	*****	0
経	歳	_				/==	MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0
	入	市				債	実計(当初)	0	0	0	_	_		_	0
費							決 算	0	-	-	-	-	******	******	0
		7	•	/th	4+	пт	MP前期	0	0	0	0	0	******	*******	0
		7	の	他	特	財	実計(当初)	0	_		_	_		*****	0
								0	- 0	- 0	- 0	- 0	******	******	0
		杜丰	財	±4		(2)	MP前期 実計(当初)	0	0	0	_	_	**************************************	**************************************	0
		11	H 7	ĒΙ		2	決 算	0	_				******	******	0
							MP前期	0	1. 706	1. 706	1. 706	1, 706	*****	*****	6, 824
	_	般 財	酒	C	1) —	. (2)	実計(当初)	376	1, 700	1, 700	1, 700	1, 700	_		376
		MX AN	m		v	<u></u>	決 算	511	-	_	_	_	******	*****	
						【補足		1市の状況)		計画と予算		いがある場合			311
			·			E IM AL	(1372)3 (10	3.12.02 (700)	7 K 07 III E		#1-71C BE	ا روحی در	4 *** <u> </u>	4	

 担当課
 702010
 教育部・学校教育課・学事係
 最終評価年月日
 平成24年8月6日

 二次評価者
 教育部長
 長崎 功一

 最終評価者
 経営改革推進本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	03	体験学習の充実
基本事業名	01	中学生職業体験学習事業

評価区分	評句	西点	そ の 理 由
必 要 	二 次 評 価	4	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を身につけることができるようにするために必要な事業である。
性	評価基準		
	5:実施が	義務付け	られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、
	2:市とし	て実施すん	る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業
効 率 性	二 次 評 価	4	市内事業所のご協力を頂く等して、少ない経費で職業体験を実施することができている。
II.	評価基準		
	4:費用対	効果が得	られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、
	1:費用対		られていない事業
成 果	最 終 評 価	4	生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできる教育活動であり、市内3中学校の2年生583人全員が市内132事業所において職業体験を実施できており、成果があったと判断する。
	評価基準	······	<u> </u>
			いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、
	1:目標を	達成でき	ていない事業

l		方向	a ##			評価者コメント			
		/J I+	1) II	規模	経費	計画有コグント			
	今 後 の 方	最 終 評 価	3			事業満足度調査では、市民の満足度は高く、今後も市民や事業所等への周知・PR活動も含め事業を継続されたい。			
	向 性	【方向性	維持、2:見 生が2の場1			廃止、0:終了 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小			

[1/4]

平成24年09月05日 16時06分45秒 作成

担当課 702020 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	指導係	本田	嘉彦					
直通番号・内線	942-1348		427					

	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

		事	業	概	要
	対象(誰・何に対して)				どのようにしたいのか
	特別な教育的支援を要する児童生徒に対して個	に応じた適正	(必要)	な教育	育の場を支援・指導する。
		事	業	内	容
	就学指導委員会の実施により、個に応じた適正(級指導教室及び通常学級)、さらに特別支援教室				特別支援教育事業各種事業について、学校(特別支援学級、通りることにより当事業を行っている。
事					
尹					
業					
内					
容					
	事業	業の経緯及び今 復	後の展覧	但(開始	始~現在~将来)
	が明記された。 その背景として、特別支援学級の増加、通級指 さらに文科省調査において、通常学級に要支援	導教室の指導に 児童生徒が6%	ELD・ 程度いる	ADH るという	Eに対して、その困難さを克服するための適切な教育を行うこと IDを加えたことによる通級指導教室の増加がある。 う結果がある。 長教育の充実・進展により、特別支援学級、通級指導教室を希望

П	基	本事業評	平価	施策が	いらみた	基本事	業評価
前	必	効	成	方向性			貢
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度
没事							
評価結	※ 方[2: 見.直し	しのうえ糸	└ 迷続、1:F	· 秦止、0::	終了
果	【方	向性が20	の場合】				
				3:維持、2 3:維持、2			

[2/4]

平成24年09月05日 16時06分45秒 作成

担当課 702020 教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08月15日							
係・氏名	指導係	本田 嘉彦						
直通番号・内線	942-1348	427						

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

	事前									評価				
		基本事業を構成する細事業名	年度		必	効	成	方				貢		補足
		空中学术で情况する <u></u> 伽学术句	度	優先順位	要性	來				見模	経費	献度		THI AC
		就学指導事業費	前々年度											
	1	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度		T								前	
		702020 教育部・学校教育課・指	現年度	1	5	4	4	3				4	々年	
		特別支援教育支援員配置事業費	前々年度										々年度事後評	
	2	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内											評価	
		平成20年度 ~	現年度	4	4	4	4	3				4		
++		702020 教育部・学校教育課・指 通級指導教室事業費	前々年度											
基本	3	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内								+			<u> </u>	
事		株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式	現年度	3	5	4	4	3				4	前年度事後	
業		特別支援教室事業費	前々年度		T								事後評	
を 構	4	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度										温	
成		平成20年度 ~ 702020 教育部・学校教育課・指	現年度	2	4	4	4	3				4		
する			前々年度											
細細			前年度										現	
事			現年度										現年度事前	
業			前々年度										評	
			前年度										価	
			現年度											
			前々 年度											小中学校に在籍する教育上特別な支援を要する児童生 徒に対する適切な教育の場の支援を行うため、必要な
			前年度										現	事業である。対象となる児童生徒が増加傾向にあり今 後もより個々に応じた効果的な教育の支援を行ってい
			現年度										年度事	かなければならない。
			前々 年度										度事後評価	
			前年度										Ш	
			現年度								+0.			

※ 方向性 ··· 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小 頁献度 ··· 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
수	MP前期	0.0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0. 0000
数	実計(当初)	0.0000	0. 0000	0. 0000	-	_	_	_	0. 0000
	決 算	2. 8600	-	_	-	_	******	******	2. 8600

[3/4] 平成24年09月05日 16時06分45秒 作成

担当課 702020 |教育部・学校教育課・指導係

記入年月日	平成24年08月15日								
係・氏名	指導係	本田	嘉彦						
直通番号・内線	942-1348		427						

(政策体系図)

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H27年度
		就学指導委員会申込者数	MP前期	57	60	62	64	66	******	******	66
	+1		実施計画	57	60	62	-	_	ı	ı	******
	指標	単位 人	結 果	55	-	-	-	-	******	******	******
	1	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	:場合の変更理	里由等)】	
)	申込者数									
基	Н	15 1 4 7	to the	1100 fr. fr.	110.4 / /	HOE to the	1100 fr. ctr	1107 to the	1100 to the	1100 to the	
		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
本		特別支援教育支援員活用時間		250	250	250	250	250	******	******	250
_	11-	数	実施計画	250	250	250	-	-	-	_	******
事	指煙	<mark>単位</mark> 時間	結 果	250	-	-	-	-	******	******	******
業	2	指標式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	:場合の変更理	里由等)】	
210)	年間で支援にあたった時間数									
目											
標											
信		指標名	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
			MP前期						******	******	
	11-		実施計画								******
	指煙	単位	結 果						******	******	******
	指標3	指標 式		【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
)										

(単位:千円)

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		MP前期計																
							MP前期	0	6, 379	6, 379	6, 379	6, 379	*****	*****	25, 516																
		直	接	事	業	費	実計(当初)	6, 513	0	0	_	-	-	-	6, 513																
							決 算	6, 118	_	_	-	-	*****	*****	6, 118																
							MP前期	0	134	134	134	134	******	******	536																
	ue.	共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	_	0																
	歳						決 算	0	_	-	-	-	******	******	0																
	出						MP前期	0	12, 330	12, 330	12, 330	12, 330	******	******	49, 320																
	1	人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0																
							決 算	13, 700	-	-	_	-	******	******	13, 700																
							MP前期	0	18, 843	18, 843	18, 843	18, 843	******	******	75, 372																
		歳	出	計		1	実計(当初)	6, 513	0	0	-	-	-	-	6, 513																
										決 算	19, 818	-	1	_	_	******	******	19, 818													
基							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0																
本		玉	庫	支	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	金	実計(当初)	0	0	0	_	_	_	_	0
74.							決 算	0	_	-	_	-	******	******	0																
事							MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0																
alle.		県	支		出	出 金	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0																
業							決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0																
経	歳						MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0																
	7	市				債	実計(当初)	0	0	0	_	-		-	0																
費	入						決 算	0	_	-	-	-	******	*****	0																
							MP前期	0	0	0	0	0	******	*****	0																
		そ	の	他	特	財	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	-	0																
							決 算	0	-	-	-	-	******	*****	0																
		4.4					MP前期	0	0	0	0	0	*****	*****	0																
		特	財	計		2	実計(当初)	0	0	0	_	-	_	_	0																
							決 算	0	-	-	-	-	******	******	0																
		60 D.					MP前期	0	18, 843	18, 843	18, 843	18, 843	******	******	75, 372																
	_	般 財	源	(1) –	(2)	実計(当初)	6, 513	0	0	_	-	_	_	6, 513																
						T 4 + 17	決 算	19, 818	- -	-	- -	- - -	*****	******	19, 818																
						【補足	(考え万(他	也市の状況)	・今後の計画	・計画と予算	早に大きな違	いかある場合	の埋田等)	1																	

担当課	702020	教育部・学校教育課・指導係	最終評価年月日		6日
			 二次評価者	教育部長	長﨑 功一
			最終評価者	経営改革推進:	本部

基本目標	03	こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり
政 策	01	学校教育の充実
施策	06	特別支援教育の推進
基本事業名	01	特別支援教育事業

評価区分	評価	点	その理由
必 要	二次評価		特別な支援を要する児童生徒に対する適正な教育の場の支援のため必要である。
性			・ られた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、 る必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業
効 率 性	二 次 評 価		就学指導委員会を開催し、個々に応じた教育の場について判定協議を行い、指導を行った。又、学校(特別支援学級、通級指導教室、通常学級)や特別支援教育支援員、ひまわり教室主任相談員と連携することで、よりきめ細やかな教育支援を行うことができた。
性	評価基準		
	241111		られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 られていない事業
成 果	最 終 評 価	4	小中学校に在籍する教育上特別な支援を要する児童生徒に対する適切な教育の場を提供できたことから、成果はあったと判断する。
			。 いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、 ていない事業

	方向	n ##			評価者コメント
	71 1-	1) II	規模	経費	計画有コクンド
今後の方	最 終 評 価				事業満足度調査では、特別支援教育支援員及び特別支援教育主任相談員の配置に対する満足度は高かった。特別な支援を要す児童生徒の数が年々増加傾向にあり、支援体制の改善も含め、今後もより個々に応じた効果的な教育の支援を継続されたい。
方 向 性	【方向性	維持、2:見 生が2の場1			秦止、0·終了 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小

[1/4]

平成24年09月05日 16時36分51秒 作成

 担当課
 703000
 教育部・生涯学習推進課
 記入年月日
 平成24年08月15日

 係・氏名
 社会教育振興係
 智原英樹

 直通番号・内線
 942-1347

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなでつくるまちづくり
政 策	03	共働のまちづくりの推進
施策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

	事業概要
対象(誰・何に対して)	どのようにしたいのか
市民、ボランティア団体、NPO法人等に対	す 市民活動を支援し、市との共働事業への展開にも役立てる。
して	
	* * + -

〔市民活動支援センター〕

- ●市民活動の情報収集及び提供
 - ・人材バンク、つながりサポーターの受付、登録、更新
 - 市民活動団体等台帳の作成
 - ・支援センター広報の作成・発行(HPの有効活用)
- ●市民活動の促進のための交流
 - ・登録者を対象にした情報交換会(交流会)の開催
- ●市民活動の相談
 - ・来館者及び電話の対応(相談記録簿の作成)
- ●その他
 - ・備品等の管理・来館者数の把握・調査研究(ニーズ把握ほか)

事

〔コミュニティ活動災害補償保険〕

事故がおきたときの速やかに補償の一部を賄い、市民活動に安心して参加ができるようする。

市民活動に際して事故が発生した場合、所管を通して報告を受け、市民共働課から保険業者に保険手続きをする。

容

業

事業の経緯及び今後の展望(開始~現在~将来)

〔市民活動支援センター〕

- ●平成21年度に国の補助を受けて、旧少年センターを改修、平成22年4月1日に開設。
- ●平成22年4月~7月は、臨時職員1名体制
- ●平成22年8月1日から雇用促進のための県費(ふるさと雇用再生特別基金事業)を活用し、管理業務以外の運営業務を社会福祉協議会に委託。 [2名体制で対応] [委託期間: H22・8~H23・3]
- ●平成24年1月、愛称を募集し『つながりひろば』に決定
- ●平成23年度でふるさと雇用再生特別基金事業が終了することもあり、平成24年度から市の直営で事業を展開。

〔コミュニティ活動災害補償保険〕

平成13年度から補償制度を整備。対象範囲や補償内容を見直しつつ継続していく。

	基本	本事業評	F価	施策が	施策からみた基本事業評価		
				古向性	方向性		
前	业	効率	成	刀凹圧		I military	
前々年度事後評価結果	必要性	効 率 性	果		規模	経費	貢献度
度					79012	4136	
事							
仮 評	※ 方向	- 44					
価			2:見直し	.のうえ糸	迷続、1∶ß	秦止. 0:á	冬了
果		う性が2 <i>0</i>				, ,	•
	規模 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小						
	経	費 … 4:	:拡大、3	:維持、2	2:縮小		

[2/4]

平成24年09月05日 16時36分51秒 作成

担当課 703000 | 教育部・生涯学習推進課

記入年月日	平成2	24年08月	月15日
係・氏名	社会教育振興係		智原英樹
直通番号・内線	942-1347		

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなでつくるまちづくり
政 策	03	共働のまちづくりの推進
施策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

				事前				事	後評 (т		
		甘土市业土, 排出土 7 如市业 2	年							音	1 ± □	
		基本事業を構成する細事業名	度	優先順	要	率				経費	献	補足
		コミュニティ活動災害補償保険事務費	前々年度	位	性	性	果		77E 13	一	度	
	1	人工数 0.0000										
	'	継続 経常的経費 枠内 平成23年度 ~	度 現年									前之
		101500 総務部・地域コミュニテ	度	1	4	3	4	3			4	度事
		人材派遣事業費	前々 年度									事 後
	2	人工数 0.0000 継続 臨時的経費 枠内	前年度									福
		平成23年度 ~ 703000 教育部・生涯学習推進課	現年度	3	3	3	3	2	4	3	3	
基		ボランティア活動支援事業費	前々年度									
本	3	人工数 0.0000 継続 臨時的経費 枠外	前年度									前
事		平成23年度 ~ 平成23年度 703000 教育部・生涯学習推進課	現年度	2	3	3	3	2	4	3	3	前年度事後
業を		NPO法人設立情報発信事業(統合のため削除)	前々年度									in i
構	4	人工数 0.0000 継続 経常的経費 枠内	前年度									価
成		平成23年度 ~ 703000 教育部・生涯学習推進課	現年度	99								
する			前々年度									
細細			前年度									現
事			現年度									現年度事前
業			前々年度									事 前 評
			前年度									一面
			現年度									
			前々年度									徐々にではあるが、市民活動支援センターが市民に浸 透してきており、今後更に登録数を増やすなど、事業
			前年度									内容を充実させて活性化を図っていくことが重要であ 現 る。
		,	現年度									度事
			前々年度									事 後 評
			前年度									福
			現年度									
ــــــــا	七白州		0.4			Ц.	Щ			1		1. 拉士 2. 维柱 2. 缩小 - 经费 4. 拉士 2. 维柱 2. 缩小

※ 方向性 … 3:現状維持、2:見直しのうえ継続、1:廃止、0:終了 【方向性が2の場合】 規模 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 経費 … 4:拡大、3:維持、2:縮小 貢献度 … 4:貢献している、3:概ね貢献している、2:あまり貢献していない、1:貢献していない

ſ		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計
ı	수	MP前期	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	******	******	0.0000
ı	数	実計(当初)	0. 0000	0. 0000	0. 0000	_	_	-	_	0.0000
ı	-	決 算	0. 7100	_	_	_	-	******	******	0. 7100

[3/4]

平成24年09月05日 16時36分51秒 作成

担当課 703000 教育部・生涯学習推進課	記入年月日	平成24年08	月15日
	係・氏名	社会教育振興係	智原英樹
	直通番号・内線	942-1347	

(政策体系図)

基本目標	07	互いに認めあいみんなでつくるまちづくり
政 策	03	共働のまちづくりの推進
施策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

		+F. += A		he de	HOO 는 다	UOA /= rts	HOE 는 ☆	HOC 는 다	UO7 는 ch	LIOO 는 다	HOO 는 다	ᄆᄺᄱᄼ
		指 標 名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		目標H27年度
		市民活動団体把握数		MP前期	70	80	90	100	150	*****	******	150
				実施計画	70	80	90	_	-	-	_	******
	指揮	単位	団体	結 果	65	-	-	_	_	******	******	******
	停	指標式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	今後の計i	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
	•	市民活動団体把握数		市民活動	支援センター	・に登録し情報	8提供できる	団体数を掘り	り起こしてい	く 。		
++												
基	H	指標名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標H26年度
本		70 100 10	t 400 =¥		2000	2200	2400	2400	2400	*******	*****	2400
4		市民活動支援センター来館者		10.0.72				2400	2400	****	****	
事	指			実施計画	2000	2200	2400	_	-	-	-	*****
尹	温	単位	人	結 果	2054	-	_	_	ı	******	******	******
業	1示 つ	指標式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	・今後の計画	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
*	٥	市民活動支援センタージ	来館者									
目		数										
標	Н	指標名		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標
		16 15 1		MP前期	1120千汉	112十十八人	1120十尺	1120十段	1127十1文	*****	*****	口市
										******	*****	
	指	27.11		実施計画								******
	糧	単位		結 果						******	******	******
	(3)	指標式			【補足	(考え方(他)	市の状況等)	今後の計	画・変更した	場合の変更理	里由等)】	
	0											

(単位:千円)

			内	訳			年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	MP前期計				
							MP前期	0	9, 779	9, 779	9, 779	9, 779	*****	******	39, 116				
		直	接	事	業	費	実計(当初)	9, 779	0	0	_	-	_	_	9, 779				
				•			決 算	8, 060	_	_	_	_	*****	*****	8, 060				
							MP前期	0	0	0	0	0	*****	******	0				
		共	通	事	務	費	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	-	0				
	歳						決 算	0	-	_	_	-	******	******	0				
	出						MP前期	0	3, 473	3, 473	3, 473	3, 473	******	******	13, 892				
	ш	人	件	費	関	連	実計(当初)	0	0	0	-	-	-	-	0				
							決 算	3, 499	-	-	_	_	******	******	3, 499				
							MP前期	0	13, 252	13, 252	13, 252	13, 252	******	******	53, 008				
		歳	出	計		1	実計(当初)	9, 779	0	0	-	-	ı	-	9, 779				
						決 算	11, 559	-	-	-	_	******	******	11, 559					
基								MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0			
本	国庫	庫	支	. 出	金	実計(当初)	0	0	0	_	-	-	_	0					
74.						決 算	0	-	-	_	-	******	******	0					
事							MP前期	0	0	0	0	0	*****	******	0				
-114-		県	支		出	金	実計(当初)	5, 713	0	0		-	-	-	5, 713				
業							決 算	0	-			-	*****	******	0				
経	歳						MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0				
-	7	市								債	実計(当初)	0	0	0	-	-	_	-	0
費	入						決 算	0	-	-		-	******	******	0				
		_	_				MP前期	0	0	0	0	0	******	******	0				
		7	の	他	特	財	実計(当初)	0	0	0	_	_	_		0				
							決 算	0	-	_	_	-	******	******	0				
		4+	пт	=1			MP前期	0	0	0	0	0	*****	******	0				
		特	財	āΤ		2	実計(当初)	5, 713	0	0	_	_	-	-	5, 713				
							決 算	0	10.000	10.050	10.000	10.050	*****	******	•				
		éп. ПJ	্যক	6		(2)	MP前期		13, 252	13, 252	13, 252	13, 252	******	*******	53, 008				
		一般則		(D –	(2)	実計(当初)	4, 066 11, 559	- 0	0		-			4, 066 11, 559				
				_	_	【補足	<u>決 算</u>	11,559		- 計画レス領	- 生生 ナンき	しがちろ担々	********	******	11, 559				
						MHA	(方ん刀(11)	とけい ひれ入流)	・フ仮の計画	・計画とアダ	引に入るな選	いらるのので	ロツ垤田寺)						

担当課	703000	教育部・生涯学習推進課	最終評価年月日		6日
		1	二次評価者	教育部長	長﨑 功一
			最終評価者	経営改革推進	本部

基本目標	07	互いに認めあいみんなでつくるまちづくり
政 策 03 共働のまちづくりの推進		共働のまちづくりの推進
施策	03	市民活動の支援
基本事業名	02	市民活動支援事業

評価区分	評句	点	そ の 理 由							
必 要	最 終 評 価	3	人口減少・少子高齢化の進行や地域の自主性・自立性の向上が求められるなど大きな社会の変化を迎える中、多様化する市民ニーズや地域の課題に行政サービスだけでは対応することが困難になってきている。 そのような社会状況の中、市民活動の促進を図り、地域課題の解決に取組む市民の自主的かつ自発的な活動を支援することは重要である。							
	評価基準									
	5:実施が義務付けられた事業、4:市が実施する必要がある事業、3:市が実施する必要が概ねある事業、									
	2:市として実施する必要があまりない事業、1:市として実施する必要がない事業									
効 率 性	最 終 評 価	3	人材バンクの充実やNPO・ボランティアの情報発信や交流を促進するなど機能の充実を図っており、概ね効率的であると判断する。							
IE.	評価基準									
	4:費用対効果が得られた事業、3:費用対効果が概ね得られた事業、2:費用対効果があまり得られていない事業、 1:費用対効果が得られていない事業									
成果	最 終 評 価		ホームページや支援センター広報誌等を活用し、ボランティア団体等への情報提供を行ったり、支援センターが市民に 親しみやすい施設になるよう愛称を募集するなどした結果、来館者数も平成22年度840人から平成23年度2054人と徐々に 増加してきたことから、概ね成果があったと判断する。							
	評価基準	***************************************								
	4:目標を	達成してし	いる事業、3:目標を概ね達成している事業、2:目標をあまり達成できていない事業、							
	1:目標を	達成できて	ていない事業							

	方向	5 AH			評価者コメント
	۱۰ در	1) II	規模 経費		計画有コクンド
今後の方	最 終 評 価	2	4	3	事業満足度調査では、ボランティアの活動支援に対する市民の満足度はやや高く、今後も広報活動等を充実させ情報収集を継続的に行い、登録者数が増加するよう事業を継続されたい。
方 向 性	【方向忖	維持、2:見 生が2の場合			廃止、0:終了 経費 ··· 4:拡大、3:維持、2:縮小